32V型 ハイビジョン対応液晶テレビ

FTV-321H

取扱説明書

このたびは、32V型ハイビジョン対応液晶テレビ「FTV-321H」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願いします。特に【必ずお守りください】(1～8 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保管してください。

お客様へお願い

本製品に関するご意見・ご要望・ご利用頂いた感想を下記ホームページまでお寄せください。
http://www.iodata.jp/promo/lcd/ftv-321h/anq/

M-MANU200275-04

もくじ

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意表示

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠危険

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音、異常な動作がある場合、すぐに使用を中止してください。

電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。また、本製品に通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

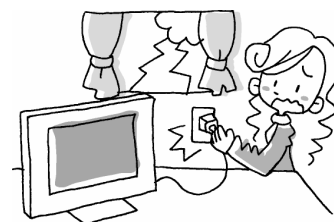
本製品を修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

分解禁止

雷が鳴り出したら、本製品、接続機器、ケーブル類に触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

⚠危険

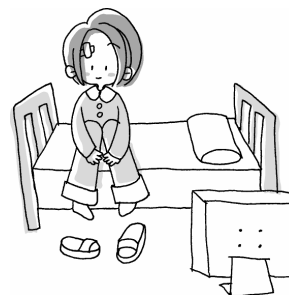
本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

水ぬれ禁止

- 火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合は、すぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因となります。また、水分が内部へ浸入すると、故障の原因になります。

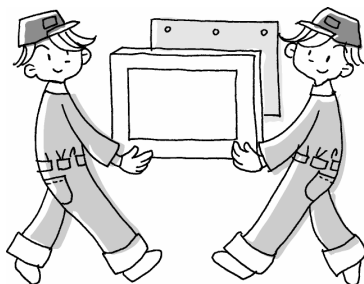
本製品を医療機関に設置しないでください。

医療機関の誤動作の原因となることがあります。

禁止

厳守

本製品を壁に取り付ける場合は、必ず専用金具をご利用ください。また、十分な技術、技能を有する工事専門業者に施行を依頼してください。

ご自分で行うと本製品の落下でのけがや破損の原因となります。

⚠警告

本製品の取り扱いは、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

作業の前に、本製品を接続する機器およびそれの周辺機器の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。
プラグを抜かずに作業を行うと、感電および故障の原因となります。

本製品はAC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。

電源ケーブルについては、以下にご注意ください。

- 必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源ケーブルをコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。
- ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- 熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。
- 動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因になります。

本製品を長時間使わない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

厳守

電源ケーブルのアースリード線については、以下にご注意ください。

- 故障・漏電時の感電防止のため、必ずアースリード線を接地（アース接続）してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。
- アースリード線をコンセントに挿入、接触させると、火災・感電の原因になります。

ぬれた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

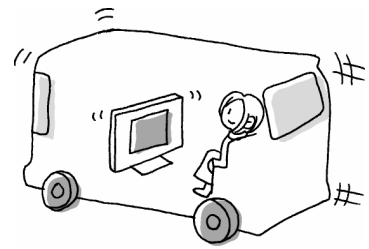
ぬれ手
禁止

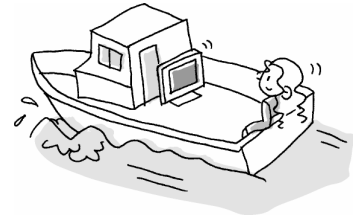
本製品を結露させたまま使わないでください。

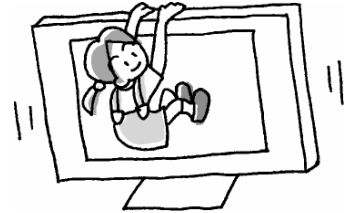
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

⚠警告

乗り物の中や天井に取り付けないでください。

移動中の振動により、本製品が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

船舶の中などで使用しないでください。

塩水をかぶり、発火や故障の原因となることがあります。

本製品にぶら下がらないでください。

本製品が倒れ、本製品の下敷きになり、大けがの原因となります。

⚠注意

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

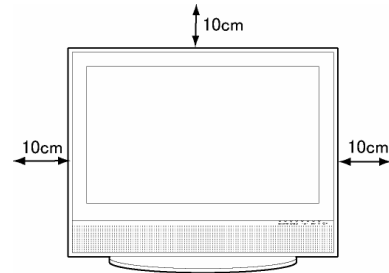
- 振動や衝撃の加わる場所
- 直射日光のあたる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 傾いた場所
- 静電気の影響の強い場所
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）
- 強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ラジオ、無線機など）
- 水気の多い場所（台所、浴室など）
- 腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_xなど）

≪使用時のみの制限≫

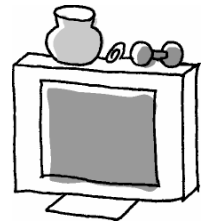
- 保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
- 製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

厳守

本製品の周囲に10cm以上間隔を空けてください。

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔から空気が抜けなくなり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

禁止

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

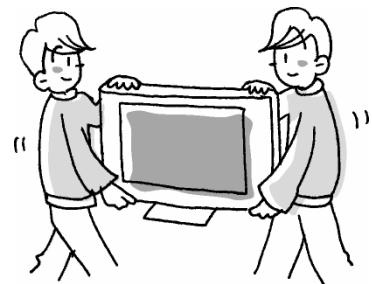
- 落としたり、衝撃を加えたりしない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品内部およびコネクター部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

電源プラグを抜く

本製品の移動の際は、まず本製品を接続している機器・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてください。

プラグを抜かずに移動を行うと、感電および故障の原因となります。

厳守

正しい方法で運搬／移動してください。

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本製品が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本製品は重いので、開梱や持ち運びは必ず２人以上で行ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。

禁止

液晶パネルから漏れた液体（液晶）には触れないでください。

誤って液晶パネルの表示面を破壊し、中の液体（液晶）が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万が一、液晶が目や口に入った場合は、すぐに水で 5 分以上洗い、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣服に液晶が付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。そのまま放置すると、皮膚や衣服を傷めるおそれがあります。

厳守

電波障害について

他の電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に近くに他のテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は次のようにしてください。

- 他のテレビやラジオなどからできるだけ離す。
- 他のテレビやラジオのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

⚠注意

厳守

梱包用のビニール袋については、以下にご注意ください。

- 梱包用のビニール袋は、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。ビニール袋をかぶったりすると、窒息の恐れがあります。
- 可燃物ですので、火のそばに置かないでください。

厳守

眼精疲労について

液晶テレビを見続けるときは、お部屋の明るさを300～1000ルクスの明るさにしてください。また、長時間見続けるときは、1時間に10分から15分程度の休憩をとってください。長時間液晶テレビを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

はじめに、音量（ボリューム）を最小にしてください。

突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

指定の電池以外は使わないでください。

指定した形以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。

厳守

電池の使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使用を中止してください。

禁止

電池について、以下のことにご注意ください。

発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因となります。

- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、60℃以上の場所、車中に放置しないでください。
- 水などでぬらしたりしないでください。
- （＋）（－）を逆に接続しないでください。
- （＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しないでください。
- ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
- 定格条件以外での使用をしないでください。
- くぎを刺したり、分解・改造をしないでください。
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出してください。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。

厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込んだとき ➡ ただちに医師に相談してください。

禁止

電池を充電しないでください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。

厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠注意

厳守

電池の液が漏れたときは以下の指示に従ってください。
直ちに火気より離してください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因となります。
電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となります。

液が漏れたとき	➡	漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。
液が目に入ったとき	➡	目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
液が体や衣服についたとき	➡	すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。 皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

お取り扱い

画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。焼き付きを防ぐために次のことを行ってください。

- 液晶テレビを使用しないときは電源を切ってください。
- なるべく省電力機能をご使用ください。

お手入れのために

- 表示面が汚れた場合は、脱脂綿か柔らかいきれいな布で軽く拭き取ってください。
- 表示面以外の汚れは、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませて軽く絞ってから、軽く拭いてください。ベンジンやシンナーなどの溶剤は避けてください。
- 表示面に水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに脱脂綿や柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと表示面が変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ侵入すると故障の原因になります。

バックライトについて

本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい専用のバックライトユニットへの交換が必要です。
※ ご自分での交換は絶対にしないでください。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

液晶パネルについて

液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

壁掛け設置について

壁掛け設置時は、必ず専用金具をご利用ください。【壁に設置する】（21ページ）を参照。

そのほか

- ご使用にならないときは、ほこりが入らないようカバーなどをかけてください。
- 表示部の周囲を押さえたり、その部分に過度の負担がかかる状態で持ち運んだりしないでください。ディスプレイ部が破損するおそれがあります。
- ディスプレイ部の表面は傷つきやすいので、工具や鉛筆、ボールペンなどの固いもので押したり、叩いたり、こすったりしないでください。
- 表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります。これは、液晶パネル自体が 99.99％以上の有効画素と 0.01％の画素欠けや輝点をもつことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の取り付けや取り外しのときは、必ず、パソコン本体および周辺機器の電源を切ってから行ってください。
- 本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。送付先については【修理について】（85ページ）を参照してください。

お使いになる前に

ご使用の前に、箱の内容物、各部の名称・機能を確認します。

本製品の特長

■大画面、省スペース！

32型　16:9ワイドスクリーンLCDフラットパネルで、大画面で映像を楽しめます。

■HDTV対応！

ハイビジョンの高解像度（1366x768）と高コントラスト（800:1）で、高精細な映像を再現します。

■HDMI端子、D4端子、ビデオ端子、RGB端子、Sビデオ端子を搭載！

HDMI対応DVDプレーヤーなどを接続すると、美しい高精細映像が楽しめます。
AV機器の映像を高画質で再現できるD4端子を2系統搭載しています。
添付のAVケーブルや別売りのケーブルを使って、ビデオデッキやDVDプレーヤー、テレビゲーム機などの映像機器とつなげば、それらの映像を視聴できます。
また、地上・BS・110度デジタルチューナーやCSチューナーに接続すれば、それぞれの放送を視聴できます。

※使用する地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もお読みください。
※110度CSデジタル放送は、無料のチャンネルもありますが、入会金・月会費などが必要になる有料放送です。

■パソコン用のディスプレイとしても使える！

添付のRGBケーブルを使ってパソコンとつなげば、パソコン用大画面ディスプレイとしてお使いいただけます。

■子画面！

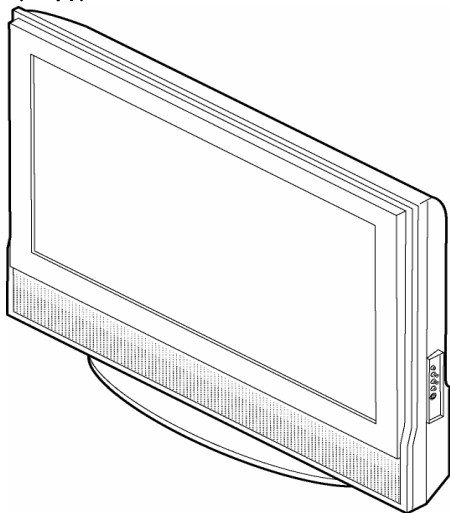
2画面を同時に表示することができます。
パソコンの画面とテレビやビデオの映像を同時に表示することができます。

■高音質、高出力、サラウンド・エフェクト機能搭載スピーカー！

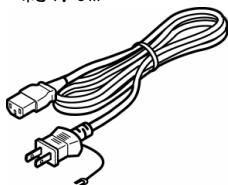
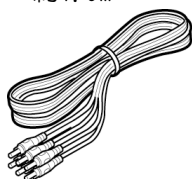
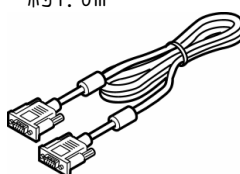
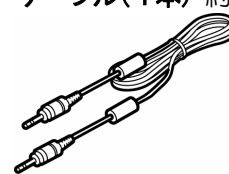
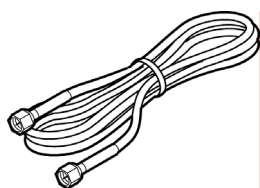
高音質で10W＋10Wの高出力スピーカーおよびサラウンドやエフェクト機能を搭載しています。

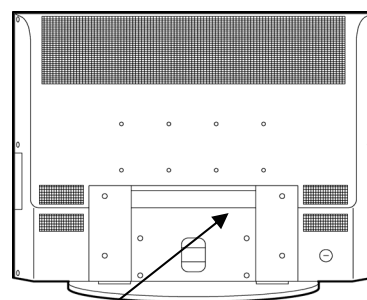
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
☐ にチェックをつけながら、ご確認ください。

☐ 液晶テレビ本体（１台）

☐ リモコン（１個）

☐ 単３形乾電池（２個）
動作確認用

☐ 電源ケーブル（１本）
約1.8m

☐ AVケーブル（１本）
約1.5m

☐ RGBケーブル（１本）
約1.5m

☐ パソコン用オーディオケーブル（１本） 約1.8m

☐ アンテナケーブル（１本） 約2.5m

☑ 取扱説明書（１冊：本書）

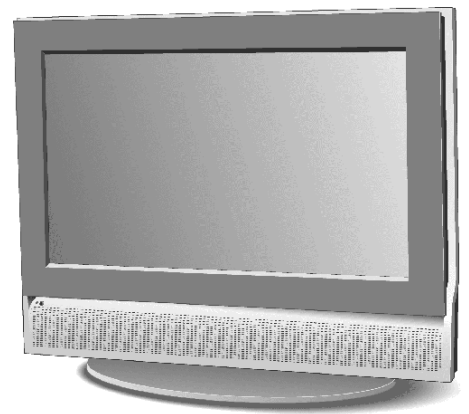
☐ ハードウェア保証書（１枚）

シリアル番号（S/N）について

ユーザー登録をする際にS/N(シリアル番号)が必要な場合があります。S/Nは本機に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。（ 例： ABC1234567ZX ）

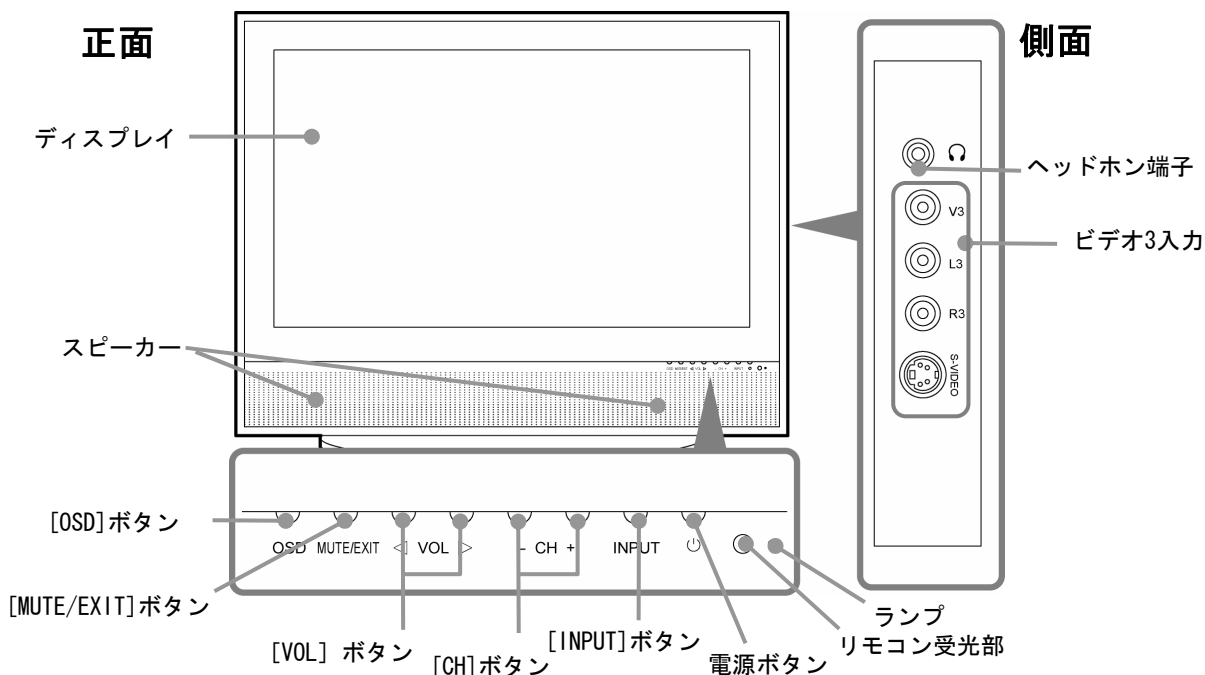
▼S/N（シリアル番号）をメモしてください。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

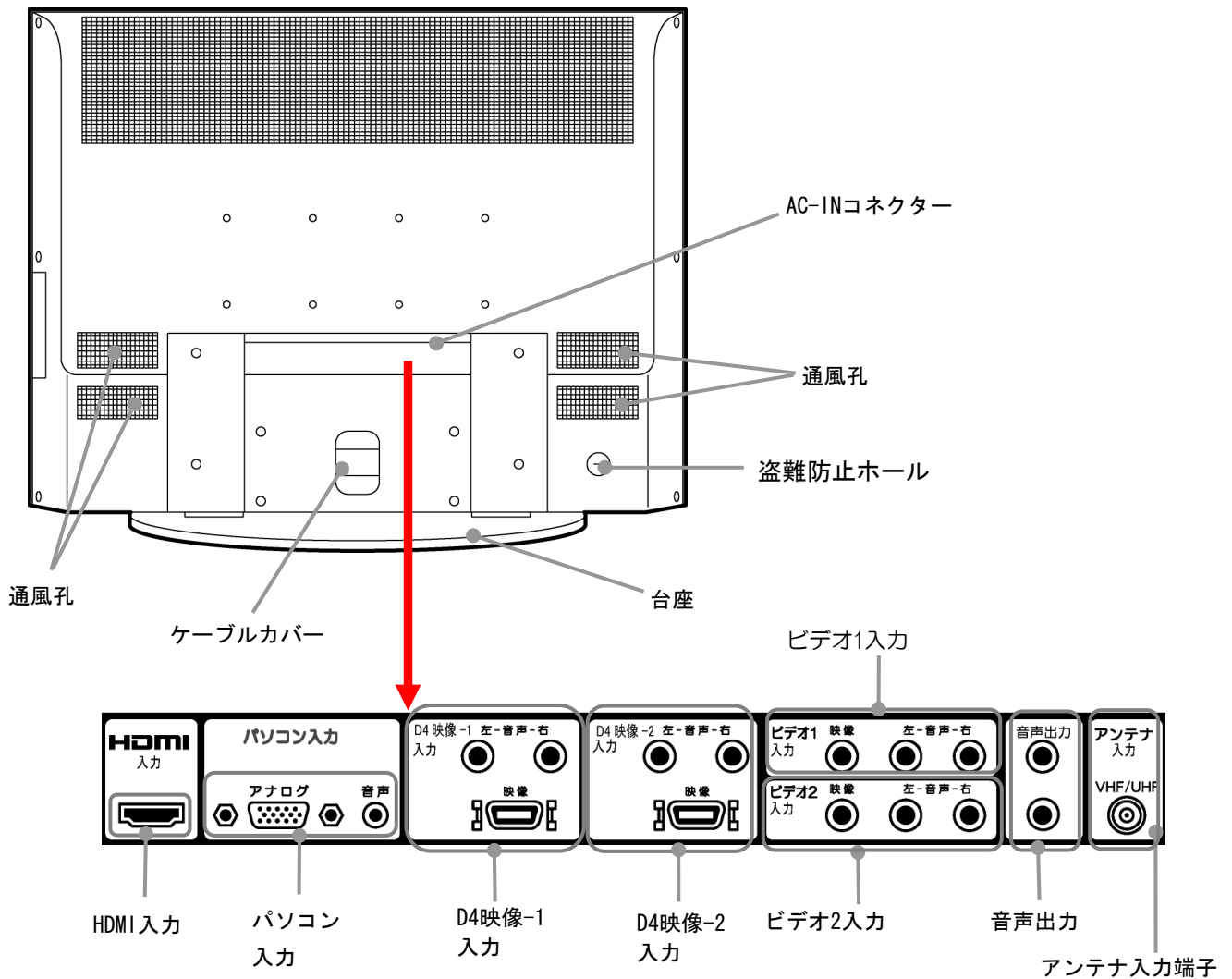
参考

- **箱・梱包材は**
  大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。
- **イラストについて**
  付属品の形状は記載の内容と若干異なる場合があります。

各部の名称・機能

以下の図を参照しながら、各部分の名称と機能をご確認ください。

■液晶テレビ本体　正面・側面

名称		機能
ディスプレイ部		映像を出力します。
スピーカー		ステレオ音声を出力します。
ヘッドホン端子		ヘッドホンやスピーカーを接続します。 ※ヘッドホン端子使用時は、液晶テレビ本体内蔵のスピーカーからは音声は出力されません。
ビデオ3入力	映像端子	映像機器（ビデオなど）のビデオ出力端子と接続します。
	音声端子（左/右）	映像機器（ビデオなど）の音声出力端子と接続します。
	S映像端子	映像機器（ビデオなど）のSビデオ出力端子接続します。
[OSD] ボタン		メニュー画面を表示します。
[MUTE/EXIT] ボタン		音声をミュートします。 メニュー画面表示時は、1つ前のメニューへ戻る時に、もしくは表示を終わらせる時に使います。
[VOL] ボタン ◀ ▶		音量の上げ下げを行います。 メニュー画面表示時は、メニュー項目の調整に使います。
[CH] ボタン ＋ −		チャンネル選択ができます。 メニュー画面表示時は、メニュー項目の選択に使います。
[INPUT] ボタン		テレビ/ビデオ1入力/ビデオ2入力/ビデオ3入力/D映像-1/D映像-2/HDMI/PC入力の入力切換を行います。
電源ボタン		電源のオン/オフを行います。
リモコン受光部		リモコンの信号を受信する部分です。
ランプ		電源が入ると緑色に点灯します。待機時、省電力モード時は橙色になります。

■液晶テレビ本体　背面

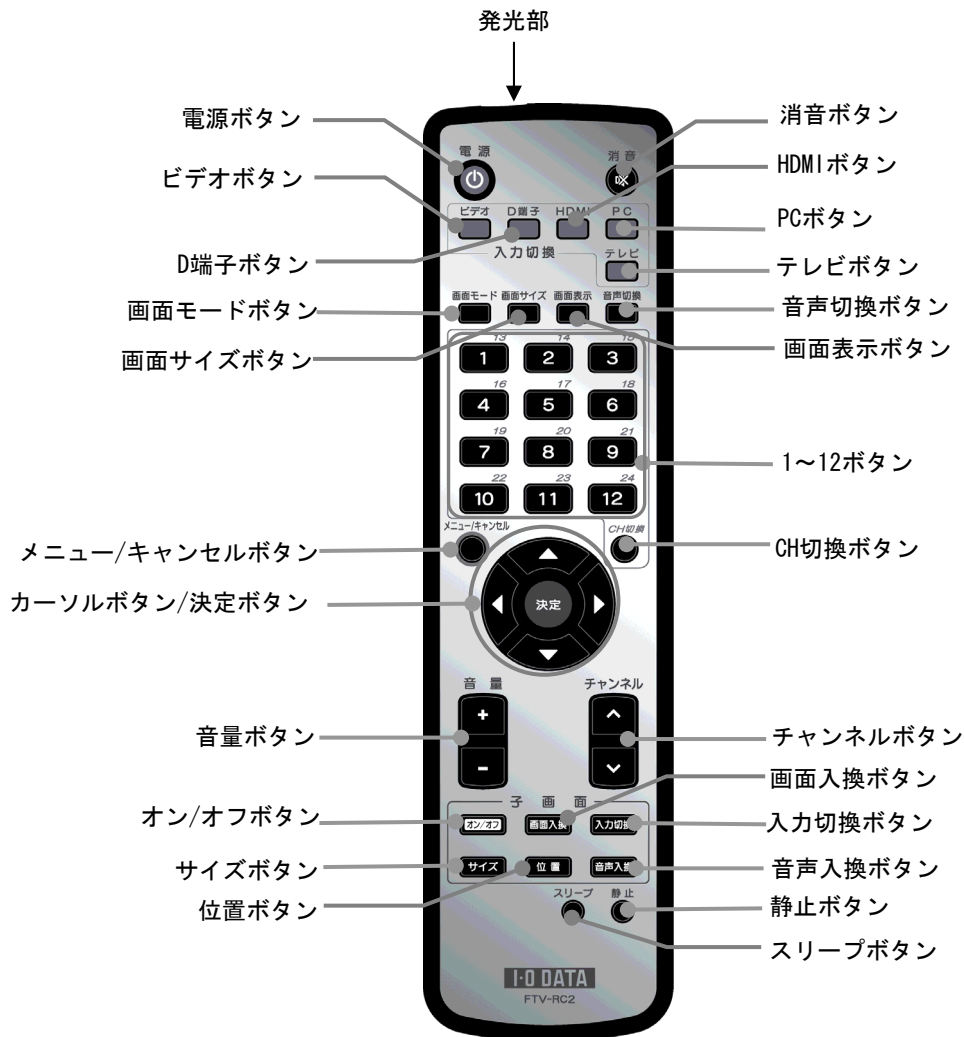
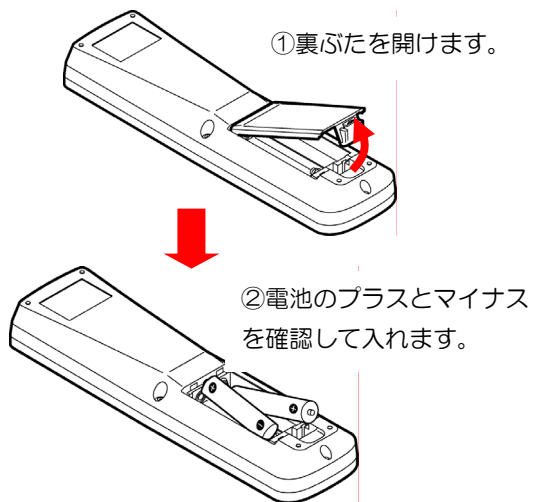
AC-INコネクター
通風孔
盗難防止ホール
通風孔
台座
ケーブルカバー
ビデオ1入力
HDMI
入力
パソコン入力
アナログ
音声
D4 映像-1
入力
左-音声-右
映像
D4 映像-2
入力
左-音声-右
映像
ビデオ1
入力
映像
左-音声-右
ビデオ2
入力
映像
左-音声-右
音声出力
アンテナ
入力
VHF/UHF
HDMI入力
パソコン
入力
D4映像-1
入力
D4映像-2
入力
ビデオ2入力
音声出力
アンテナ入力端子

名称		機能
HDMI入力端子		映像機器（DVDプレーヤーなど）のHDMI端子と接続します。
パソコン入力	アナログ(RGB)	パソコンのRGB出力コネクターと接続します。
	音声	パソコンのオーディオ出力端子と接続します。
D4映像-1入力	映像	映像機器（DVDプレーヤーなど）のD映像端子と接続します。
	音声（左/右）	映像機器（DVDプレーヤーなど）の音声出力端子と接続します。
D4映像-2入力	映像	映像機器（DVDプレーヤーなど）のD映像端子と接続します。
	音声（左/右）	映像機器（DVDプレーヤーなど）の音声出力端子と接続します。
ビデオ1入力	映像	映像機器（ビデオなど）のビデオ出力端子と接続します。
	音声（左/右）	映像機器（ビデオなど）の音声出力端子と接続します。
ビデオ2入力	映像	映像機器（ビデオなど）のビデオ出力端子と接続します。
	音声（左/右）	映像機器（ビデオなど）の音声出力端子と接続します。
音声出力（左/右）		オーディオ機器（AVアンプなど）の音声入力と接続します。
アンテナ入力		VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルや、ケーブルテレビのケーブル※を接続します。
AC-INコネクター		添付の電源ケーブルを接続します。
通風孔		機器内部の熱を放出するためのものです。 ※通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり故障の原因になります。
ケーブルカバー		ケーブル類をまとめるために、ケーブルカバーを使って留めます。
盗難防止ホール		市販のセキュリティケーブル※を取り付けることにより、本体を持ち運べないようにすることができます。
台座		床、テレビ台などの安定した場所に置いてください。

※別途ご用意ください。

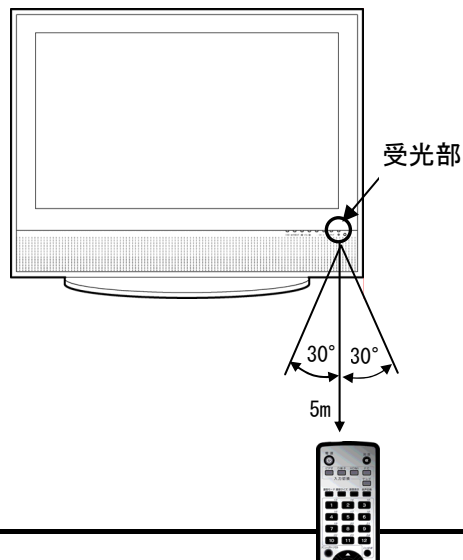
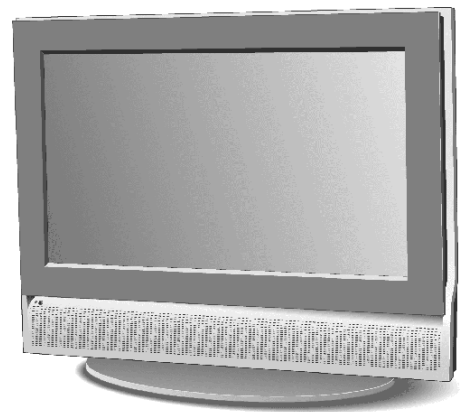
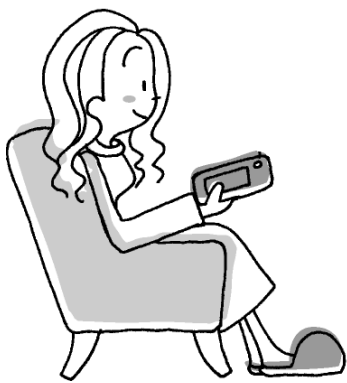
■リモコン

乾電池の入れ方

①裏ぶたを開けます。

②電池のプラスとマイナスを確認して入れます。

添付の電池は動作確認用です。なるべく早く新しい乾電池（単３）と交換してください。

リモコンの操作

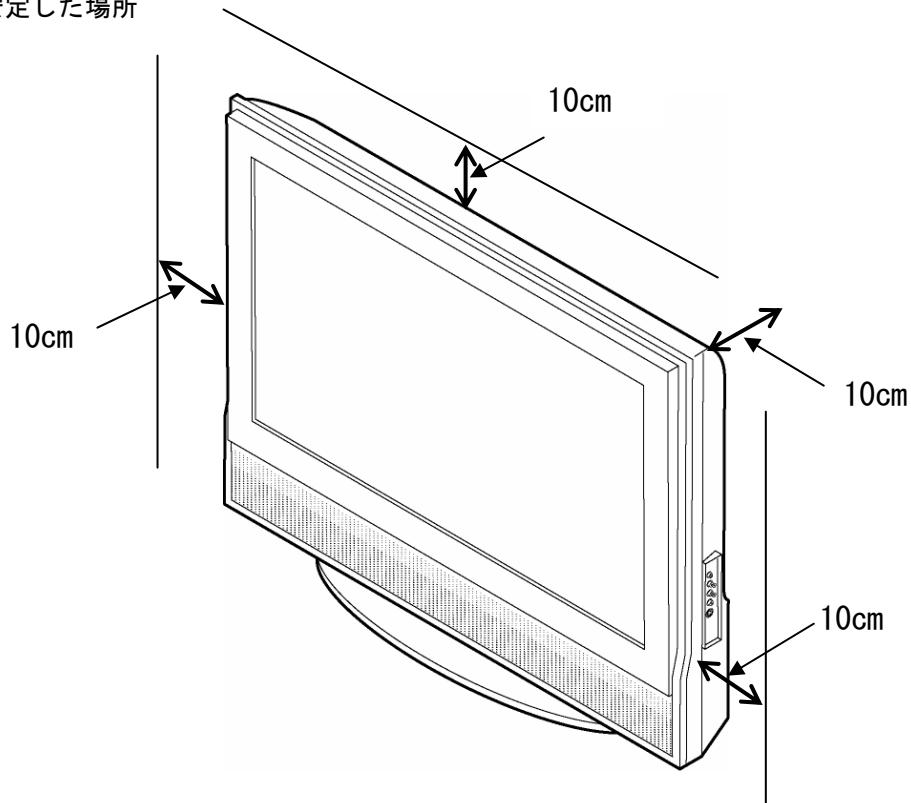
受光部より、距離5m、左右に30度、上下に30度の範囲でリモコンを操作してください。

名称		機能
発光部		リモコンの信号が出る部分です。 （カバーはありません。）
電源ボタン		電源のオン/オフを行います。オンになると本体前面のランプが緑色に点灯します。 ※本体側の電源が入った状態、または省電力モード時のみ有効です
消音ボタン		音声をミュートします。
ビデオボタン		ビデオ（ビデオ1～ビデオ3）映像に切り換えます。
Ｄ端子ボタン		D映像（D映像-1、D映像-2）映像に切り換えます。
ＨＤＭＩボタン		HDMI映像に切り換えます。
ＰＣボタン		パソコンに切り換えます。
テレビボタン		テレビに切り換えます。
画面モードボタン		お好みの画面モードが選択できます。 【画面モードを切り換えるには】（33ページ）参照。
画面サイズボタン		お好みの画面サイズが選択できます。 【画面サイズを切り換えるには】（33ページ）参照。
画面表示ボタン		チャンネル表示を入/切します。
音声切換ボタン		ステレオ⇒モノラル、主音声⇒副音声⇒主/副の順に音声を切り換えます。
１～１２ボタン		チャンネル選択ができます。
ＣＨ切換ボタン		13チャンネル以降(13～24)に切り換えます。
メニュー/キャンセルボタン		メニュー画面の表示、非表示を行います。
カーソルボタン 決定ボタン		メニュー項目を選択・決定します。 メニュー画面表示時は、メニューの選択、メニュー項目の調整をします。
音量ボタン		音量の上げ下げを行います。
チャンネルボタン		プリセットチャンネルを１チャンネル単位で切り換えます。
子画面	オン/オフボタン	子画面の表示/非表示を切り換えます。
	画面入換ボタン	メイン画面と子画面の表示を入れ換えます。
	入力切換ボタン	子画面に表示する内容を以下の順に切り換えます。 ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→D映像1→D映像2→HDMI→PC→テレビ
	サイズボタン	子画面のサイズを変更します。
	位置ボタン	子画面の位置を変更します。
	音声入換ボタン	メイン画面と子画面のどちらの音声を出力するかを入れ換えます。
スリープボタン		オフ⇒30分⇒60分⇒90分⇒120分⇒オフの順にスリープタイマー時間を切り換えます。
静止ボタン		映像を停止状態にします。 ※子画面は停止しません。

準備する

液晶テレビ本体にテレビのアンテナ接続ケーブルをつなぎ、チャンネル設定を行って、テレビを見る準備をします。

設置する

■床・台座に設置する

次のような場所に設置してください。

- ・左右10cm、上面10cm、背面10cm以上を空けて設置できる場所
- ・風通しの良い場所（密閉されていない場所）
- ・水平で安定した場所

転倒防止の措置をしてください。

転倒防止の措置をしないと、けがの原因となります。
地震や不意の衝撃などで、テレビが倒れてけがをする恐れがあります。
安心してご使用いただくために、市販の転倒防止用具をご購入の上、
転倒防止策の実施をお願いします。

■壁に設置する

本製品を壁に設置する場合は、本製品専用の壁掛け金具(別売)が必要です。
取り付け方法など詳しくは、壁掛け金具の取扱説明書を参照してください。

別売品

弊社製 「液晶テレビ専用壁掛けキット　TA-WM320」

壁に設置する場合

壁に設置する場合のご注意

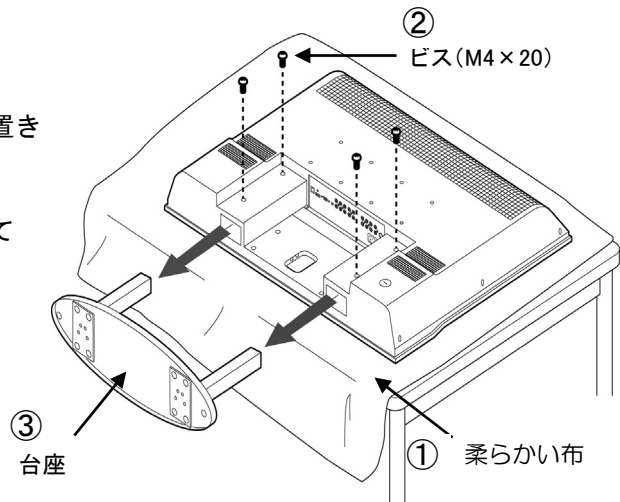
●壁の材質や構造によっては本製品の取り付けができない場合があります。本製品の設置に関しては、工事専門業者または販売店にご相談ください。壁の強度が十分でない場合は、あらかじめ補強工事が必要となる場合があります。

●取り付けは、十分な技術、技能を有する取り付け工事専門業者に施工を依頼してください。

●設置費用は、設置場所の環境によって異なります。工事専門業者にお問い合わせください。

●設置につきましてはお客様と工事専門業者のご契約となります。設置に関する詳細は工事専門業者にご確認ください。設置に関わる万一の事故、不具合等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

1　台座を取り外します。

①柔らかい布の上に本製品背面を上にして置きます。
②背面のビス4本を取り外します。
※取り外したビス、台座は大切に保管しておいてください。
③台座を抜きます。

2　壁掛け金具(別売)に取り付けて、壁に設置します。

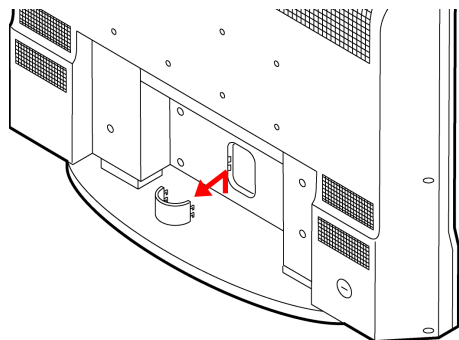
詳しい設置方法は、壁掛け金具の取扱説明書をご覧ください。

設置は工事専門業者に依頼してください。
お客様ご自身による工事は一切行わないでください。
けがや破損の原因となります。
取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

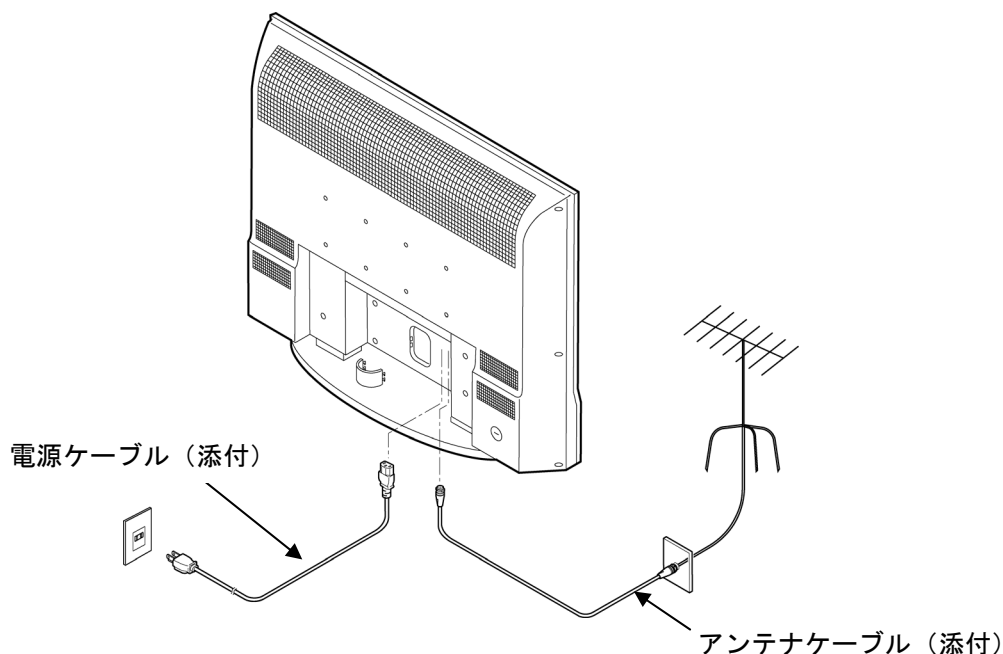
アンテナを接続する

液晶テレビ本体に、テレビのアンテナを取り付けます。

1 **液晶テレビ本体背面のケーブルカバーを外します。**

ケーブルカバーの外し方
ケーブルカバーに指をかけ、
カバーについている矢印の方向に引きます。

※ケーブル類の接続がすべて完了しましたら、
ケーブルカバーを取り付けてください。

2 **液晶テレビ本体背面のAC-INコネクターに、電源ケーブルを接続します。**

3 **液晶テレビ本体背面のアンテナ接続端子に、アンテナケーブルまたはケーブルテレビ信号線を接続します。**

4 **電源ケーブルをコンセントに接続します。**

以上でテレビを見るための接続は終了です。

- CATV（ケーブルテレビ）は放送サービスが行われている地域で受信可能です。受信には使用機器ごとにCATV会社との契約が必要です。詳しくは地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。
- CATVを見るために、専用チューナーへの接続を必要とする場合があります。接続方法は専用チューナーの取扱説明書をご覧ください。

テレビチャンネルを設定する

テレビを視聴するために、メニュー画面にてチャンネルを設定します。リモコンもしくは液晶テレビ本体のボタンで操作します。

チャンネルの設定方法

本製品では､以下の方法でチャンネル設定を行えます｡ご利用の環境に合わせた方法で､設定を行ってください｡

地上波放送をご覧になる場合 ⇒

地域設定　24ページ
お住まいの地域を指定して選局します。
もっとも簡単な設定方法です。通常はこの方法をご利用ください。

↓ 正常に設定できなかった場合自動選局で設定してください。

CATV（ケーブルテレビ）をご覧になる場合 ⇒

自動選局　25ページ
アンテナから入力されている電波を自動的に検出してチャンネルに割り当てます。設定は簡単ですが､受信電波が弱い場合は、正しく検出できない場合もあります。

チャンネル設定を変更したいときは・・・ ⇒

手動選局　26ページ
手動でチャンネルを設定します。
また､リモコンの任意の番号ボタンにチャンネルを割り当てたり、チャンネルの微調整なども行えます。

地域設定または自動選局にて設定されたチャンネルを変更したいときは、手動選局（26ページ）をご利用ください。

ご注意

マンション・アパートやCATV受信環境などでは、本製品でご用意している地域チャンネル設定とは異なる場合があります。この場合は、自動選局（25ページ）もしくは手動選局（26ページ）をご利用ください。
例：UHFの37チャンネルがVHFの12チャンネルに変換されて配信されている、など。

地域設定

お住まいの地域を指定して選局します。
もっとも簡単な設定方法です。通常はこの方法をご利用ください。

1

（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 （◀ ▶）ボタンで「チャンネル設定」を選択して、（決定）ボタンを押します。

チャンネル設定画面が表示されます。

3 （◀ ▶）ボタンでお住まいの「都道府県」を選択します。

4 （▲ ▼）ボタンで「都市」を選択します。

5 （◀ ▶）ボタンでお住まいの「都市」を選択します。

→お住まいの地域のチャンネルに設定されます。

6 [メニュー/キャンセル]ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

- 表示された都市にお住まいの場合でも、場所によっては受信できる放送局が異なる場合があります。そのようなときは手動選局（26ページ）で、個別に設定してください。
- チャンネル1～12（13～24）に手動設定していたチャンネルは、地域設定でチャンネルを設定した時点で取り消されます。手動選局は、地域設定をした後で行ってください。

以上で地域設定は終了です。

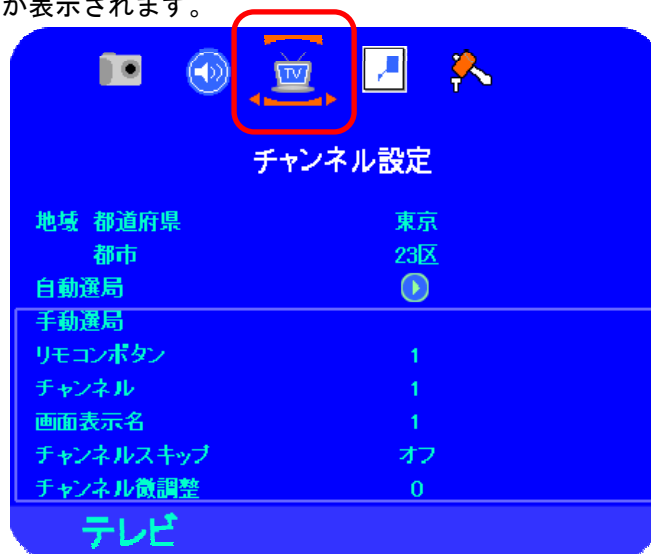
自動選局

アンテナから入力されている電波を自動的に検出してチャンネルに割り当てます。

1 （メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 （◀ ▶）ボタンで「チャンネル設定」を選択して、（決定）ボタンを押します。

チャンネル設定画面が表示されます。

3 （▲ ▼）ボタンで「自動選局」を選択して、（ ▶）ボタンを押します。

自動的に選局が行われます。

参考

自動選局ではテレビ局名が自動で設定されないため、テレビ局名の表示を行う場合には手動で設定してください。（【手動選局】（26ページ）参照）

4 選局終了後、 （メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

ご注意

・受信電波が弱い場合は、正しく検出できない場合もあります。
・受信電波によっては、映像が鮮明でない放送を検出する場合があります。

以上で自動選局は終了です。

手動選局

手動で、チャンネルを設定します。

また、リモコンの任意の番号ボタンにチャンネルを割り当てたり、チャンネルスキップを設定したり、チャンネルの微調整なども行えます。

1 メニュー/キャンセル（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2 （◀　▶）ボタンで「チャンネル設定」を選択して、（決定）ボタンを押します。

チャンネル設定画面が表示されます。

3 （▲　▼）ボタンで「リモコンボタン」を選択して、（◀　▶）ボタンでリモコンボタンの番号を選択します。

4 （▲　▼）ボタンで「チャンネル」を選択して、（◀　▶）ボタンで受信チャンネルの番号を選択します。

5 必要に応じて（▲ ▼）ボタンで「画面表示名」を選択して、（◀ ▶）ボタンで設定する局名を選択します。

リモコンボタン	リモコンのチャンネルボタンを指定します。 1～12、13～24
チャンネル	チャンネル（テレビ局）1～62 CATV（ケーブルテレビ）C13～C63
画面表示名	チャンネル表示をする際のテレビ局名を変更することができます。テレビ局名は【局名表示順序表】（82ページ）の順で表示されます。 選択できるテレビ局名は全130局です。 ※受信チャンネルにC13～C63が設定されている場合、局名表示には「CATV」のみが設定されます。

6 選局終了後、（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

以上で手動選局は終了です。

チャンネルスキップ設定

チャンネルスキップ設定をオンにすると現在視聴中のチャンネルが、以下のチャンネル選択時にスキップされます。スキップしたいチャンネルをスキップオンに設定しておくと、チャンネル切換がすばやくできます。

・ リモコンの （チャンネル）ボタンにてチャンネル選択をする場合

・ 液晶テレビ本体の［CH ＋］［CH －］ボタンにてチャンネル選択をする場合

1 メニュー/キャンセル（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 （◀ ▶）ボタンで「チャンネル設定」を選択して、 （決定）ボタンを押します。
チャンネル設定画面が表示されます。

3 （▲ ▼）ボタンで「リモコンボタン」を選択します。

4 （◀ ▶）ボタンでスキップしたいチャンネルのリモコンのボタン番号を選択します。

5 （▲ ▼）ボタンで「チャンネルスキップ」を選択します。

6 （◀　▶）ボタンで「オン」または「オフ」を選択します。

7 選局終了後、メニュー/キャンセル（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

以上でチャンネルスキップ設定は終了です。

チャンネル微調整設定

受信状態が悪い場合に微調整します。
（受信状態が悪い場合に調整すると受信状態を改善できる場合があります。）

1

（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2

（◀ ▶）ボタンで「チャンネル設定」を選択して、

（決定）ボタンを押します。

チャンネル設定画面が表示されます。

3

（▲ ▼）ボタンで「リモコンボタン」を選択します。

4

（◀ ▶）ボタンで微調整を行いたいリモコンのボタン番号を選択します。

5

（▲ ▼）ボタンで「チャンネル微調整」を選択します。

6

（◀ ▶）ボタンで調整します。

7 メニュー/キャンセル（メニュー/キャンセル）ボタンを押します。

メニュー画面が消えます。

以上でチャンネルの微調整は終了です。

テレビを見る

液晶テレビ本体でテレビを視聴できます。

- 画質などの調整を行いたい場合は、メニュー画面から設定/調整してください。
  調整/設定については、【設定/調整をする】（43ページ）をご覧ください。

テレビを見るときの操作

テレビを見るときの操作について説明します。

液晶テレビ本体の電源を入/切するには

リモコンの 電源 ボタンを押します。

もしくは液晶テレビ本体の電源ボタン（ ）を押します。

液晶テレビ本体の電源が入/切します。（ランプが緑点灯/消灯します。）

自動的に電源を切ることもできます。
[スリープ]ボタンを押すことによって自動的に電源が切れる時間を設定できます。
オフ→ 30→ 60→ 90→ 120→ オフ （以降繰り返し）

入力ソースを切り換えるには

リモコンの[テレビ]ボタンを押します。
もしくは液晶テレビ本体の［INPUT］ボタンを押します。

液晶テレビ本体の［INPUT］ボタンを押すごとに、テレビ/ビデオ1入力/ビデオ2入力/ビデオ3入力/D映像-1/D映像-2/HDMI/PC入力の順に切り換わりますので、テレビに設定します。

他のチューナー機器から入力された放送を表示する場合は、チューナーの電源を入れ、チューナーを接続したビデオ入力に切り換える必要があります。

チャンネルを切り換えるには

リモコンの1～12（13～24）ボタン、または

（チャンネル）ボタンを押します。
もしくは液晶テレビ本体の［CH ＋］［CH －］ボタンを押します。

液晶テレビのチャンネルを切り換えることができます。

他のチューナー機器から入力された放送のチャンネルを切り替えるには、チューナー機器の電源を入れ、チューナーのリモコンを使ってください。

２画面で見るには

【子画面機能の使い方】（41ページ）を参照してください。

音量を上げ下げするには

リモコンの 音量 + - （音量）ボタンを押します。

もしくは液晶テレビ本体の［VOL ◀ ］［VOL ▶ ］ボタンを押します。
液晶テレビの音量を上げ下げすることができます。

画面モードを切り換えるには

リモコンの[画面モード]ボタンを押します。

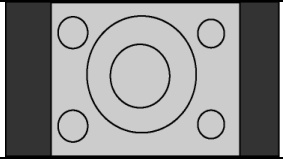
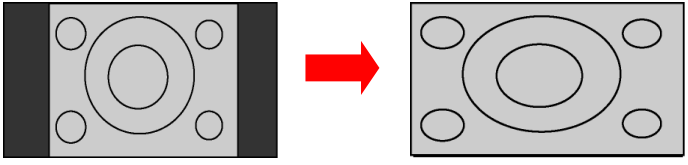
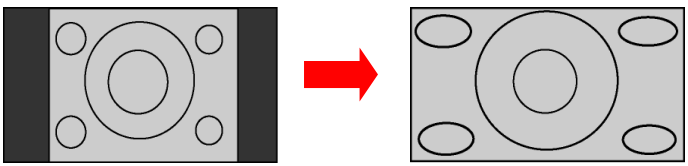
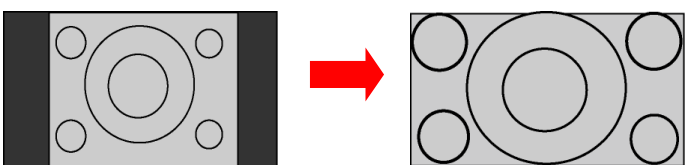
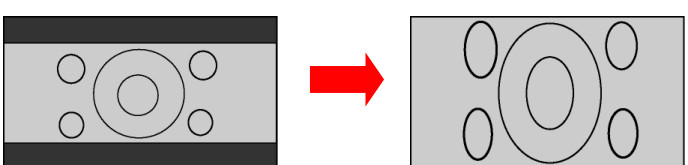
画面モードを切り換えられます。
[モード1]→[モード2]→[モード3]→[ユーザー]の順に切り換わります。
お好みのモードを選択してください。
【画質設定】（45ページ）参照。

●画面モード

モード１（標準）	画質の設定を標準にします。
モード２（映画）	暗い映像を見やすくします。
モード３（ゲーム）	明るさを抑えて目にやさしい映像にします。
ユーザー	お好みの調整内容を設定します。

画面サイズを切り換えるには

リモコンの[画面サイズ]ボタンを押します。

画面サイズを切り換えられます。
各サイズの説明は、次ページをご覧ください。

●テレビ、ビデオ入力

ノーマル	4:3 画面で表示したもの
ワイド	ワイド（16:9）に拡大したもの
パノラマ	自然に見えるように拡大したもの
ズーム	中心を拡大したもの

画面サイズの種類について

ノーマル	4:3画面で表示したもの。	
ワイド	左右を拡大してワイド(16:9)で表示します。	
パノラマ	自然に見えるように拡大表示します。 拡大比率は、中央付近は小さく、左右周辺は大きくなります。	
ズーム	4:3の映像の場合は、全体を拡大して表示します。	
	上下に黒い帯のある映像の場合は、縦に拡大して表示します。	

※HDMI 入力時は、パノラマ設定はできません。
　また、PIP モード時、パノラマ設定はできません。

映像機器（ビデオなど）を見る

液晶テレビ本体にDVD プレーヤーやビデオデッキ、テレビゲーム機などの映像機器をつないだのち、その映像を見ることができます。

画質などの調整を行いたい場合は、メニュー画面から設定/調整してください。
調整/設定については、【設定/調整をする】（43ページ）をご覧ください。

映像機器(ビデオなど)を見る(続き)

映像機器（ビデオなど）の接続方法は、【映像機器（ビデオなど）の映像を見るための接続をする】（54ページ）を参照してください。

液晶テレビ本体の電源を入/切するには

リモコンの 電源 ボタンを押します。
もしくは液晶テレビ本体の電源ボタン（ ⏻ ）を押します。
液晶テレビ本体の電源が入/切します。（ランプが緑点灯/消灯します。）

参考

自動的に電源を切ることもできます。
[スリープ]ボタンを押すことによって自動的に電源が切れる時間を設定できます。
オフ→ 30→ 60→ 90→ 120→ オフ　（以降繰り返し）

ご注意

- 使用するビデオデッキやDVDプレーヤー、テレビゲーム機などの映像機器の電源も入れてください。
- 使用するビデオデッキやDVDプレーヤー、テレビゲーム機などの映像機器の取扱説明書もお読みください。

入力ソースを切り換えるには

リモコンの[ビデオ]ボタン、[D端子]ボタン、[HDMI]ボタンのうち、見たい入力ソースのボタンを押します。もしくは液晶テレビ本体の［INPUT］ボタンを押します。

液晶テレビ本体の［INPUT］ボタンを押すごとに、テレビ/ビデオ1入力/ビデオ2入力/ビデオ3入力/D映像-1/D映像-2/HDMI/PC入力の順に切り換わりますので、見たいソースを選択します。

音量を上げ下げするには

リモコンの （音量）ボタンを押します。
もしくは液晶テレビ本体の［VOL ◀ ］［VOL ▶ ］ボタンを押します。
液晶テレビの音量を上げ下げすることができます。

画面サイズを切り換えるには

リモコンの[画面サイズ]ボタンを押します。

画面サイズを切り換えられます。

ノーマル	4:3 画面で表示したもの	ズーム	中心を拡大したもの
ワイド	ワイド（16:9）に拡大したもの	パノラマ	自然に見えるように拡大したもの

※詳細は【画面サイズの種類について】（34ページ）を参照してください。

パソコンで使う

液晶テレビ本体にパソコンをつないだのち、その映像を見ることができます。

ご注意

本製品の最大解像度は1360×768です。
これより高い解像度を入力すると、映像を正しく表示できません。本製品に接続する前に、
必ずパソコン本体の解像度設定を1360×768以下に設定しておいてください。

画質などの調整を行いたい場合は、メニュー画面から設定/調整してください。
調整/設定については、【画質設定】（45ページ）をご覧ください。

パソコンと液晶テレビとの接続方法は、【パソコンと接続する】(57ページ)を参照してください。

液晶テレビ本体の電源を入/切するには

リモコンの 電源 ボタンを押します。

もしくは液晶テレビ本体の電源ボタン(⏻)を押します。

液晶テレビ本体の電源が入/切します。(ランプが緑点灯/消灯します。)

参考

自動的に電源を切ることもできます。
[スリープ]ボタンを押すことによって自動的に電源が切れる時間を設定できます。
オフ→ 30→ 60→ 90→ 120→ オフ (以降繰り返し)

ご注意

- 使用するパソコンの電源も入れてください。
- 使用するパソコンの取扱説明書もお読みください。

入力ソースを切り換えるには

リモコンの[PC]ボタンを押します。もしくは液晶テレビ本体の[INPUT]ボタンを押します。

液晶テレビ本体の[INPUT]ボタンを押すごとに、テレビ/ビデオ1入力/ビデオ2入力/ビデオ3入力/D映像-1/D映像-2/HDMI/PC入力の順に切り換わりますので、PCを選択します。

音量を上げ下げするには

リモコンの 音量 (音量)ボタンを押します。

もしくは液晶テレビ本体の[VOL ◀][VOL ▶]ボタンを押します。

液晶テレビの音量を上げ下げすることができます。

画面サイズを切り換えるには

リモコンの[画面サイズ]ボタンを押します。

画面サイズを切り換えられます。

ノーマル	4:3画面で表示したもの
ワイド	ワイド(16:9)に拡大したもの

子画面機能を使う

画面を２つに分け、違う映像を表示することができます。

子画面機能の概要

■子画面モード

子画面機能にはモードがあります。
子画面モードを切り換える方法については、【子画面モードを切り換える】(41ページ)をご覧ください。

モード	説明
PIP (Picture In Picture)	親画面の中に子画面を表示します。
POP (Picture Out Picture)	親画面の外に子画面を表示します。 ※親画面、子画面とも4:3に縮小表示されます。
オフ	子画面機能を使いません。

■子画面機能の制限

親画面と子画面で同時に表示できない入力の組み合わせがあります。
下表をご覧ください。

		子画面				
		TV	ビデオ	D端子	HDMI	PC
親画面	TV	×	○	○	○※2	○
親画面	ビデオ	○	○※1	○	○※2	○
親画面	D端子	○	○	×	×	×
親画面	HDMI	○	○	×	×	×
親画面	PC	○	○	×	×	×

※1 同じビデオ入力を親画面と子画面で表示することはできません。
※2 HDMIを子画面にした場合、1080i表示は行えません。

子画面機能の使い方

液晶テレビに２画面同時に表示することができます。

■子画面を表示/非表示する

1 リモコンの子画面・[オン/オフ]ボタンを押します。

子画面モードが、[PIP]→[POP]→[オフ]の順番に切り換わります。

ご注意	● 子画面が表示されない場合、子画面モードが「オフ」になっています。 下をご覧になり、子画面モードを切り換えてください。

■子画面モードを切り換える

表示する子画面モードを切り換えるには、メニュー、またはリモコンの子画面・[オン/オフ]ボタンを使います。
子画面モードについては、【子画面機能の概要】(40ページ)をご覧ください。

リモコンを使う場合

リモコンの子画面・[オン/オフ]ボタンを押します。

子画面がモードが、[PIP]→[POP]→[オフ]の順番に切り換わります。

メニューを使う場合

1 （メニュー/キャンセル）ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 (◀ ▶)ボタンで「子画面設定」を選択して、 (決定) ボタンを押します。

3 (▲ ▼) ボタン上下で「子画面モード」を選びます。

4 (◀ ▶)ボタンで使う子画面モードに切り換えます。
子画面モードが切り換わります。

子画面機能の使い方（続き）

■子画面の入力を切り換える

子画面・[入力切換]ボタンを押します。

子画面の内容が、ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→D4映像1→D4映像2→HDMI→PC→テレビの順に切り換わります。【子画面設定】（48ページ）参照。
表示できる入力の制限については、【子画面機能の概要】(40ページ)をご覧ください。

■子画面のサイズを切り換える

子画面・[サイズ]ボタンを押します。

子画面のサイズが切り換わります。【子画面設定】（48ページ）参照。
切り換えられるサイズは、子画面モードにより異なります。

PIPの場合：３段階に切り換えられます。
POPの場合：２段階に切り換えられます。

■子画面の位置を切り換える

子画面モードが「PIP」の時のみ切り換えられます。

子画面・[位置]ボタンを押します。

子画面の位置が切り換わります。【子画面設定】（48ページ）参照。

■子画面と親画面を入れ換える

子画面・[画面入換]ボタンを押します。

子画面と親画面が入れ換えられます。【子画面設定】（48ページ）参照。
音声は親画面の音声が出力されます。

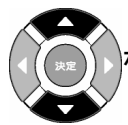
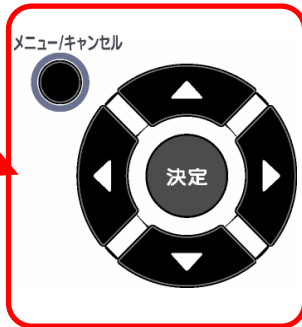
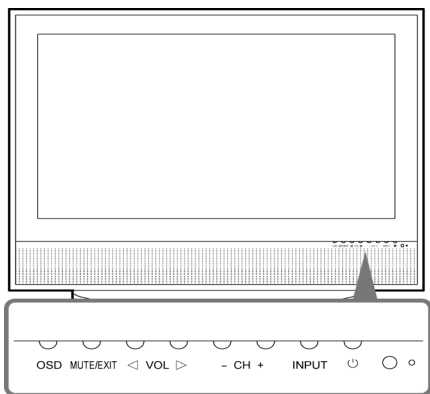
■出力される音声を設定する

子画面・音声入換ボタンを押します。

子画面の音声と親画面の音声が入れ換えられます。【子画面設定】（48ページ）参照。

設定/調整をする

液晶テレビ本体で表示できる下記映像の画質調整や、音声やメニュー画面に関する設定を行うことができます。

- テレビの映像
- 映像機器（ビデオなど）、パソコンから液晶テレビ本体に表示している映像

設定/調整方法（基本操作）

1 リモコンの メニュー/キャンセル ボタン、もしくは液晶テレビ本体の[OSD]ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。

2 各メニューを以下のボタンで操作します。

各ボタンの機能

機能	リモコン	液晶テレビのボタン
メニューを起動	メニュー/キャンセル ボタン	[OSD] ボタン
カーソル移動（上下）	ボタン	[CH ＋] [CH －] ボタン
カーソル移動（左右）	ボタン	[VOL ◀] [VOL ▶] ボタン
項目を選択/決定	ボタン または ボタン	[VOL ◀] [VOL ▶] ボタン
一つ前の操作に戻る	なし	[MUTE/EXIT] ボタン
メニューを終了	メニュー/キャンセル ボタン	[MUTE/EXIT] ボタン
ボタンの位置		

以上で基本操作の説明は終了です。

画質設定

画質設定　（TV、ビデオ、D４映像、HDMI入力時）

項目	説明
画面モード	画面モードを切り換えます。 画面モードについては、【画面モードを切り換えるには】(33ページ)をご覧ください。
バックライト※1	バックライト（輝度）の明るさを調整します。
明るさ個目※2	画面の明るさ（黒レベル）を調整します。
コントラスト※2	コントラスト値を調整します。
色の濃さ※2	画面の色の濃さを調整します。
色合い※2	画面の色の赤みを調整します。
シャープネス※2	映像の輪郭を調整します。

※1 各モード共通設定です。
※2 画面モードが「ユーザー」時のみ変更可能です。

オーディオ設定

項目	説明
音量	スピーカーの音量を調整します。
低音	低音の音量を調整します。
高音	高音の音量を調整します。
バランス	左右の音声のバランスを調整します。
サラウンド	サラウンドのオンオフを設定します。
エフェクト	エフェクトを選択します。
ミュート	音声の入/切を調整します。
スピーカー	スピーカーのオン/オフを設定します。
ミュート	音声の入/切を調整します。
音声切換※	以下の内容を設定します。 ●モノラル放送の場合→モノラル音声のみ ●ステレオ放送の場合→ステレオ音声、モノラル音声のうち、どちらかを選択できます。 ●２か国語放送、音声多重放送の場合 →主音声、副音声、主/副（主音声…スピーカーの左側、副音声…スピーカーの右側）のうち、いずれかを選択できます。

※　音声切換は、テレビ入力時のみ設定できます。

チャンネル設定

テレビ入力 時のみ、表示される項目です。

項目		説明
地域		都道府県名、都市名を選択すると登録されているチャンネルを割り当てます。 【地域設定】（24ページ）参照。
自動選局		自動選局では受信したチャンネルをリモコンボタンの1から順に割り当てていきます。 24チャンネル分設定できます。 【自動選局】（25ページ）参照。
手動選局	リモコンボタン	リモコンのチャンネルキーで選ぶチャンネルを選択します。
	チャンネル	1～62、C13～C63
	画面表示名	放送局名を表示します。
	チャンネルスキップ	リモコンボタンまたはOSDボタンでチャンネルアップやチャンネルダウンをしたとき、チャンネルスキップをオンに設定したチャンネルはスキップします。
	チャンネル微調整	選択したチャンネルの受信する周波数を微調整します。
		【手動選局】（26ページ）参照。

子画面設定

項目	説明
子画面モード	子画面モードを設定します。 子画面モードについては、【子画面機能の概要】(40ページ)をご覧ください。
子画面入力切換	子画面に表示する入力ソースを切り換えます。 テレビ入力時　：ビデオ１/ビデオ2/ビデオ3/D映像1/D映像２/PC/HDMI ビデオ１入力時　：テレビ/ビデオ2/ビデオ3/D映像1/D映像２/PC/HDMI ビデオ2入力時　：テレビ/ビデオ1/ビデオ3/D映像1/D映像２/PC/HDMI ビデオ3入力時　：テレビ/ビデオ1/ビデオ2/D映像1/D映像２/PC/HDMI D映像1,2,PC,HDMI入力時　：TV/ビデオ1/ビデオ2/ビデオ3
子画面サイズ	子画面のサイズが切り換わります。 切り換えられるサイズは、子画面モードにより異なります。 **PIPの場合：　３段階に切り換えられます。** **POP の場合：　２段階に切り換えられます。**
子画面位置	子画面の位置が切り換わります。（子画面位置は時計回りで選択します。） 子画面モードが「PIP」の時のみ切り換えられます。 左上 → 上 → 右上 右上 → 右 → 右下 右下 → 下 → 左下 左下 → 左 → 左上

画質設定（PC入力時）

PC入力 時のみ、表示される項目です。

項目	説明
自動調整	LCD 調整の内容を自動調整します。
バックライト	バックライト（輝度）の明るさを調整します。
明るさ	画面の明るさ（黒レベル）を調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
垂直位置	画面の垂直位置を調整します。
水平サイズ	画面の水平サイズを調整します。
水平位置	水平位置を調整します。
画面微調整	画面のノイズを軽減し、鮮明度を微調整します。

色温度（PC入力時）

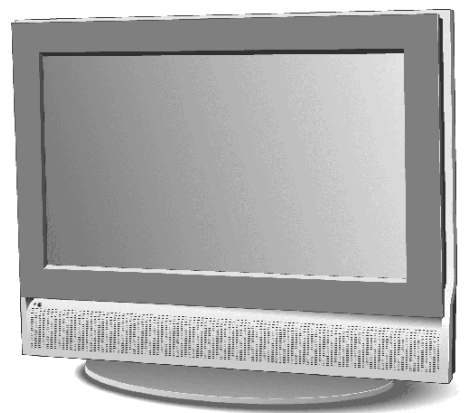
PC入力 時のみ、表示される項目です。

項目	説明
色温度	9300Kの発色は鮮やかですがやや青白く感じられます。 6500Kは昼光色とも呼ばれ自然な白色が表現できる設定となります。 7200Kはこれらの中間の設定となります。 ユーザーでは、赤緑青の明るさを調整して色温度を設定できます。

色温度を選ぶためのヒント
数字が大きい値ほど色合いが青っぽくなり、小さい値ほど赤っぽくなります。

その他

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td>言語</td><td colspan="2">メニュー画面の表示言語を選択します。以下の言語が選択可能です。
・日本語
・English（英語）</td></tr>
<tr><td>スリープ※</td><td colspan="2">スリープタイマーの時間を設定します。
設定できる時間は、30分、60分、90分、120分です。
設定値がオフの場合は、スリープタイマーは働きません。（無効になります）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画面サイズ※</td><td>PC入力時</td><td>フルスクリーン/アスペクト固定
（Full Screen　/Normal）</td></tr>
<tr><td>テレビ，ビデオ，D映像，HDMI入力時</td><td>ノーマル/ワイド/ズーム/パノラマ
（Normal/Wide　/Zoom　/Panorama）</td></tr>
<tr><td>画面表示※</td><td colspan="2">入力信号が変化した時に、画面右上に、現在入力されている信号情報を表示させるかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td colspan="2">設定値を工場出荷状態に戻します。
ただし、次の設定は工場出荷時の値には戻りません。
●言語
●［ユーザー］で設定した色温度
●チャンネル設定</td></tr>
</table>

※リモコンでも設定できます。最後に設定したものが有効となります。

他の機器と接続する

■映像機器（ビデオなど）の映像を見るための接続をする

液晶テレビ本体に、ビデオデッキやDVDプレーヤー、テレビゲーム機などの映像機器を取り付けます。

- 使用するDVDプレーヤーやビデオデッキ、テレビゲーム機などの映像機器の電源を切ってから、液晶テレビ本体との接続を行ってください。
- 使用するDVDプレーヤーやビデオデッキ、テレビゲーム機などの映像機器の取扱説明書もお読みください。
- テレビゲームをお楽しみいただけますが、原理上、光線銃などを使い画面を標的にするゲームで使用できない場合があります。また、DVD、ゲームなどの映像や音声に若干の遅れが生じます。
- **接続する端子によって映像の鮮明さが異なります。**
  映像機器の映像出力端子をご確認いただき、より鮮明に見える出力端子にて接続いただくことをおすすめします。

  鮮明さ

  HDMI,D映像　　**S映像**　　**ビデオ**

- **劣化しているビデオテープを再生した場合、鮮明な映像が得られない場合があります。**

1 **液晶テレビ本体背面のケーブルカバーを外します。**

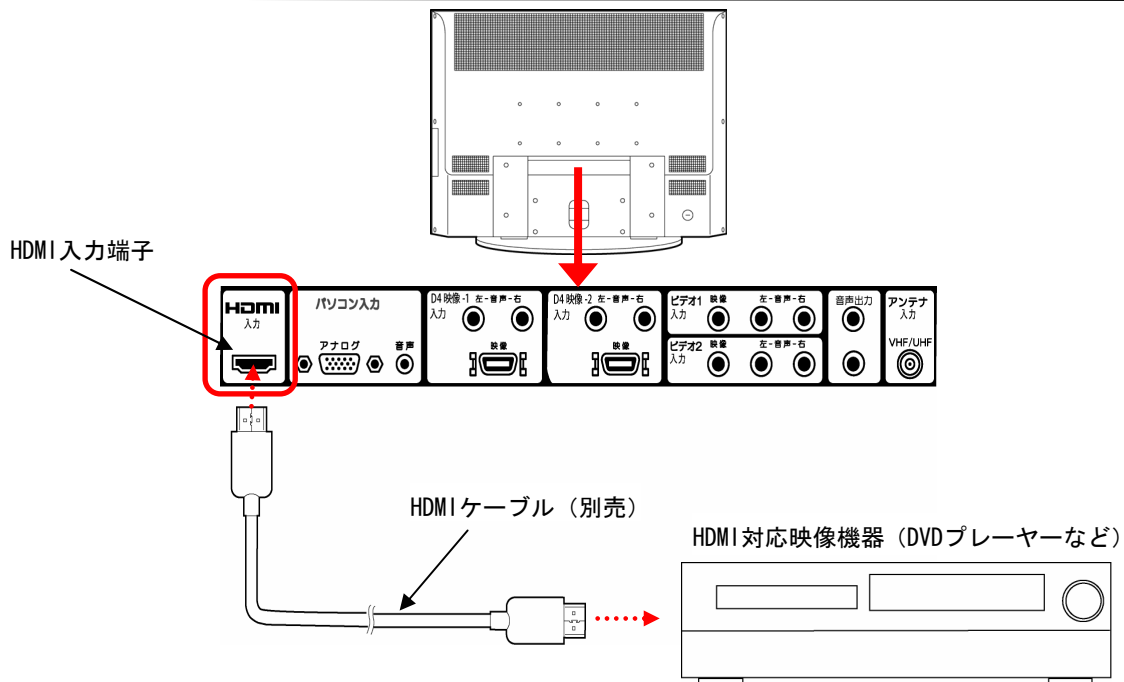
2 **液晶テレビ本体背面の各端子に、映像機器を接続します。**

本製品では、HDMI接続、D映像接続、コンポジット接続、S映像接続、ができます。

HDMI端子のある映像機器と接続する

HDMI入力端子

HDMIケーブル（別売）

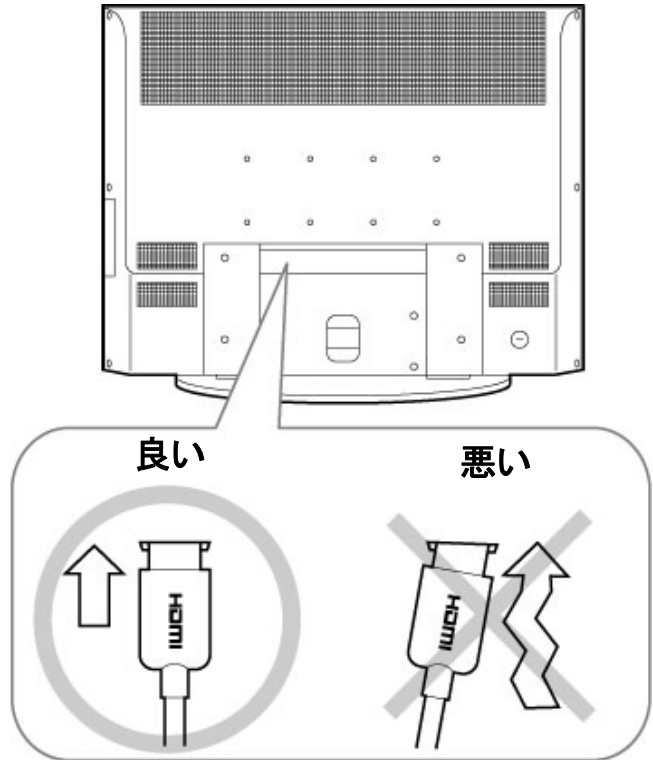
HDMI対応映像機器（DVDプレーヤーなど）

ご注意

●HDMIケーブル（別売）をHDMI端子に差し込むときは、次ページの【HDMIケーブルの差し込み方】を参照して差し込んでください。
●使用するHDMIケーブルは以下のメーカーのHDMIケーブルを推奨いたします。
・Panasonic
・audio-technica

HDMI ケーブルの差し込み方

HDMIケーブルで映像機器と本製品のHDMI端子を接続する際に、ケーブルによっては差し込みにくいものがあります。
そのときは無理に差し込まずに、本製品のHDMI端子にHDMIケーブルをまっすぐに差し込んでください。
無理に差し込むとケーブルのコネクタのピン部分が破損する場合があります。

良い差し込み方	HDMI端子に、ゆっくりと、まっすぐに差し込みます。
悪い差し込み方	HDMI端子に、斜めに差し込んだり、無理に差し込まないでください。

HDMI、HDMIのロゴ、High-Difinition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

D映像端子（D4端子）のある映像機器と接続する

HDMI 入力
パソコン入力
アナログ
音声
D4映像-1 入力 左-音声-右 映像
D4映像-2 入力 左-音声-右 映像
ビデオ1 入力 映像 左-音声-右
ビデオ2 入力 映像 左-音声-右
音声出力
アンテナ入力 VHF/UHF

黄
白
赤
D端子ケーブル（別売）
D端子対応映像機器（DVDプレーヤなど）
添付のAVケーブルまたはオーディオケーブル（別売）
赤
白
黄（コンポジット端子（黄色）は接続しません。）

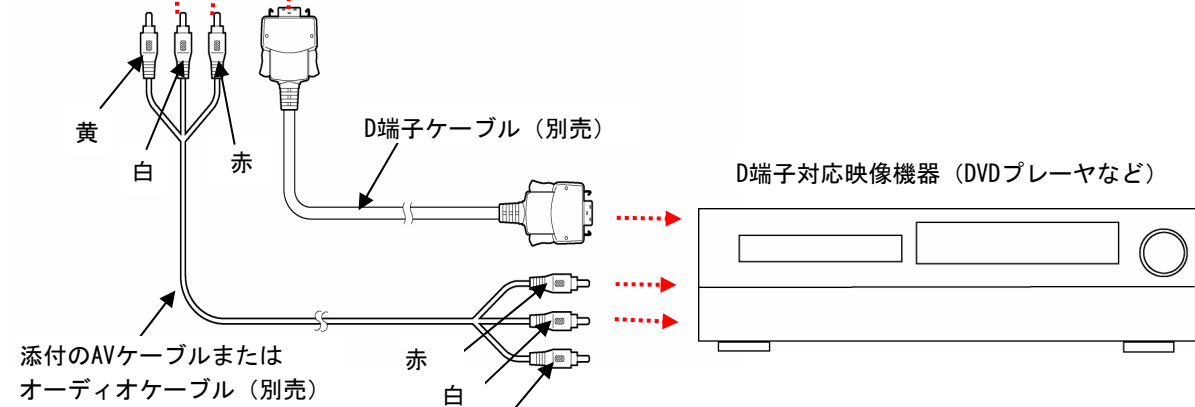
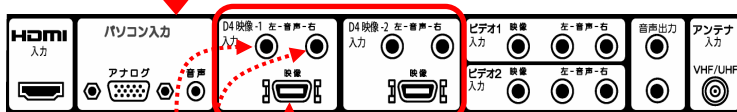
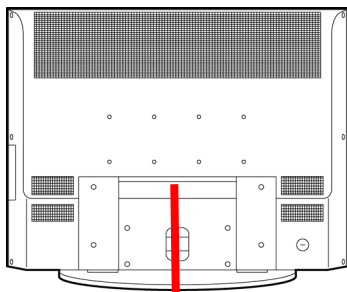
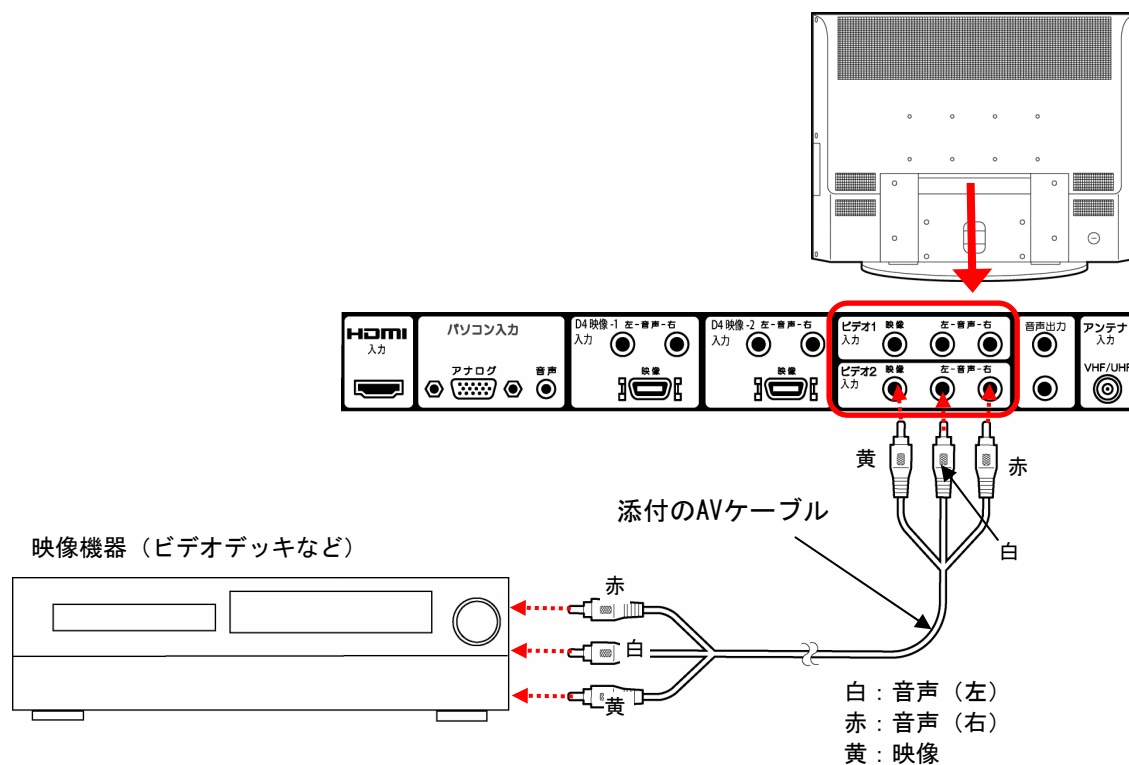
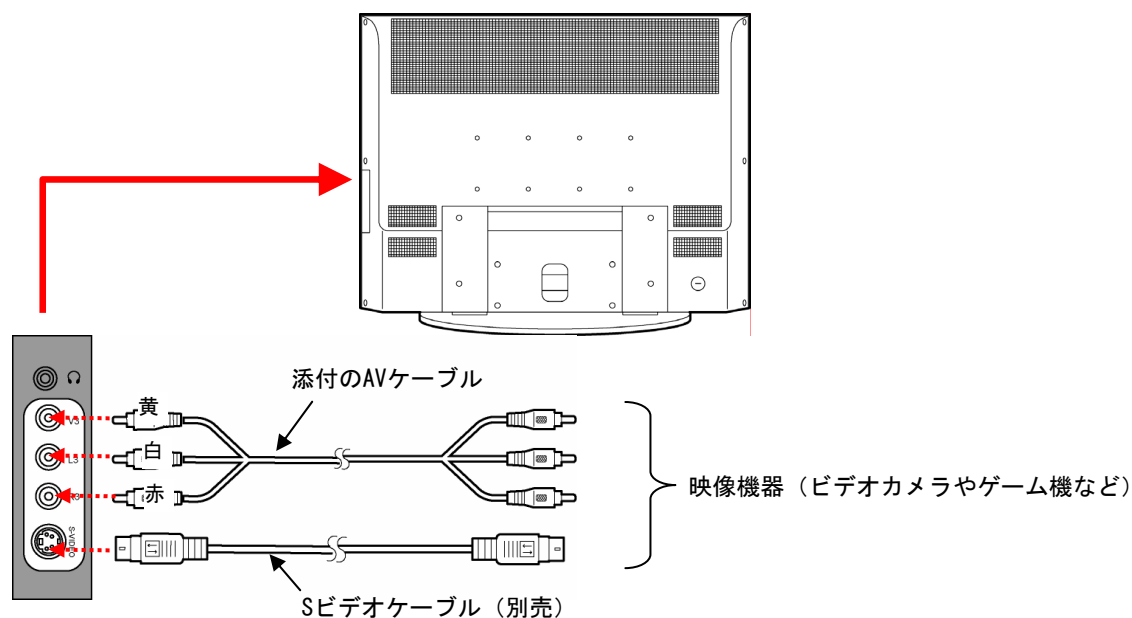
ビデオ端子と接続する

映像機器（ビデオデッキなど）

添付のAVケーブル

黄
赤
白

赤
白
黄

白：音声（左）
赤：音声（右）
黄：映像

ビデオ端子と接続する（側面のビデオ端子）

ご注意 HDMI、D端子で1080i映像入力時は、解像度が1366×768に縮小表示されます。

以上で映像機器（ビデオなど）を見るための接続は終了です。

■パソコンと接続する

液晶テレビ本体に、パソコンを取り付けます。

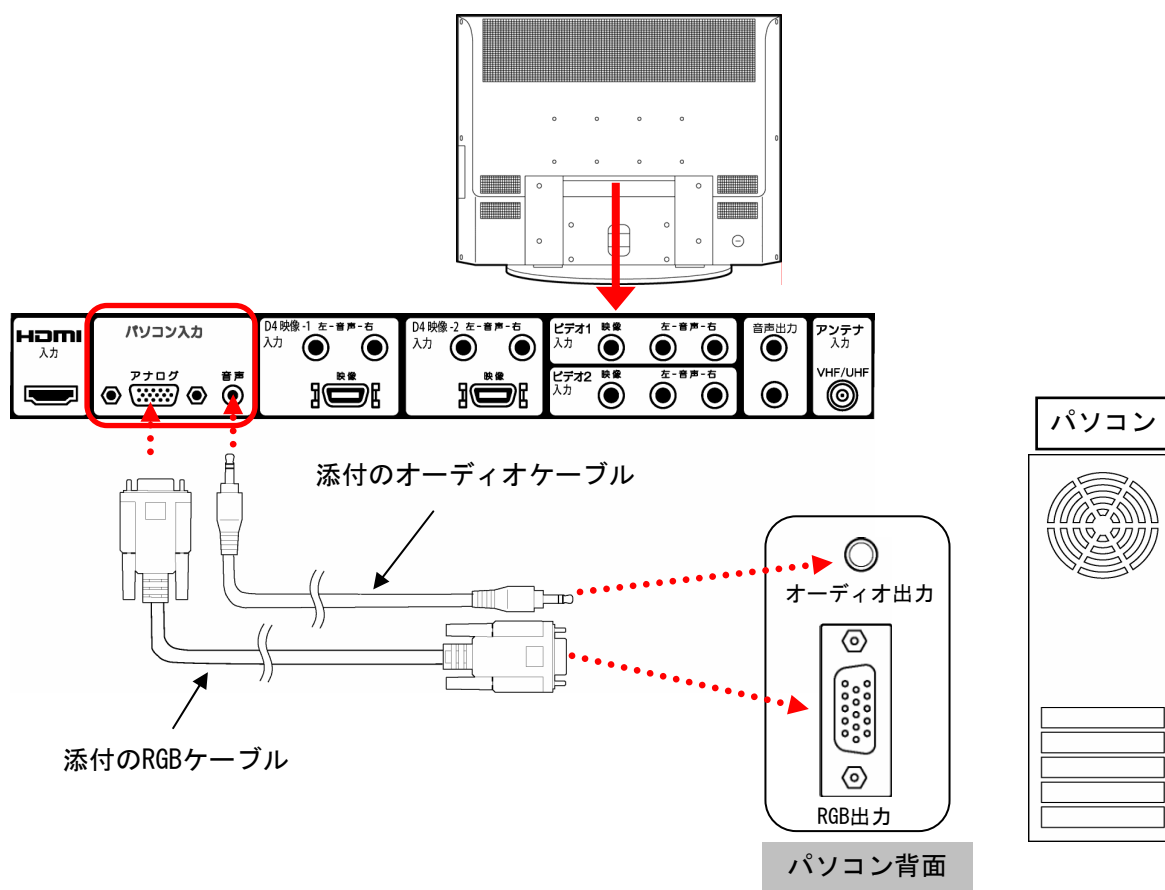
- パソコンの電源を切ってから、本製品との接続を行ってください。
- パソコン本体の端子の場所については、パソコンの取扱説明書をお読みください。

1 **液晶テレビ本体背面のケーブルカバーを外します。**

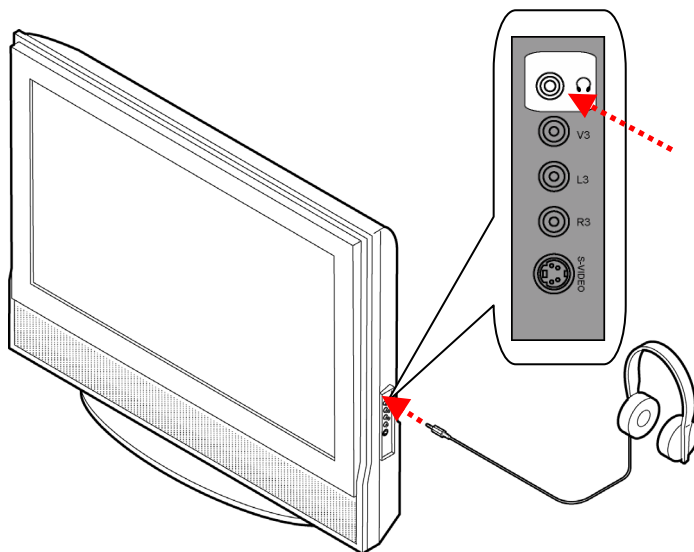
2 **液晶テレビ本体背面の各端子と、パソコンの出力コネクターを接続します。**

本製品では、アナログRGB接続ができます。

● **アナログRGB接続**

RGBケーブルのコネクターは、左右のネジできちんと締めてください。
パソコン用オーディオケーブルは、本製品のスピーカーからパソコンの音声を聞かない場合は、接続する必要はありません。

以上でパソコンの接続は終了です。

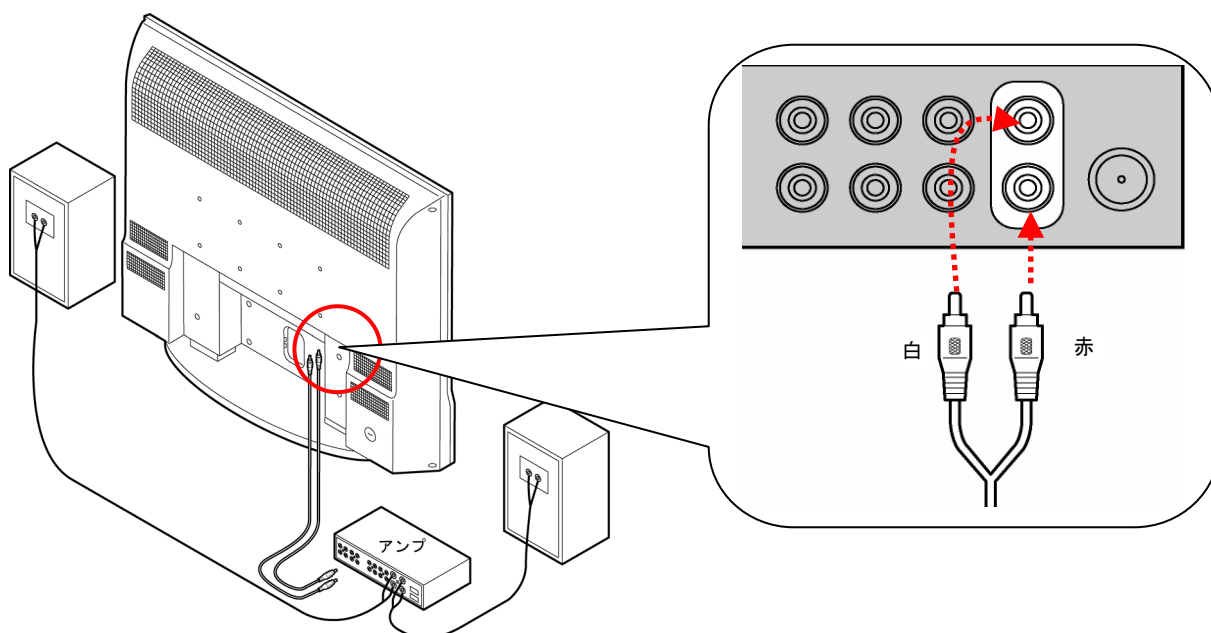
■ヘッドホンを接続する

液晶テレビ本体のヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用することができます。

ご注意

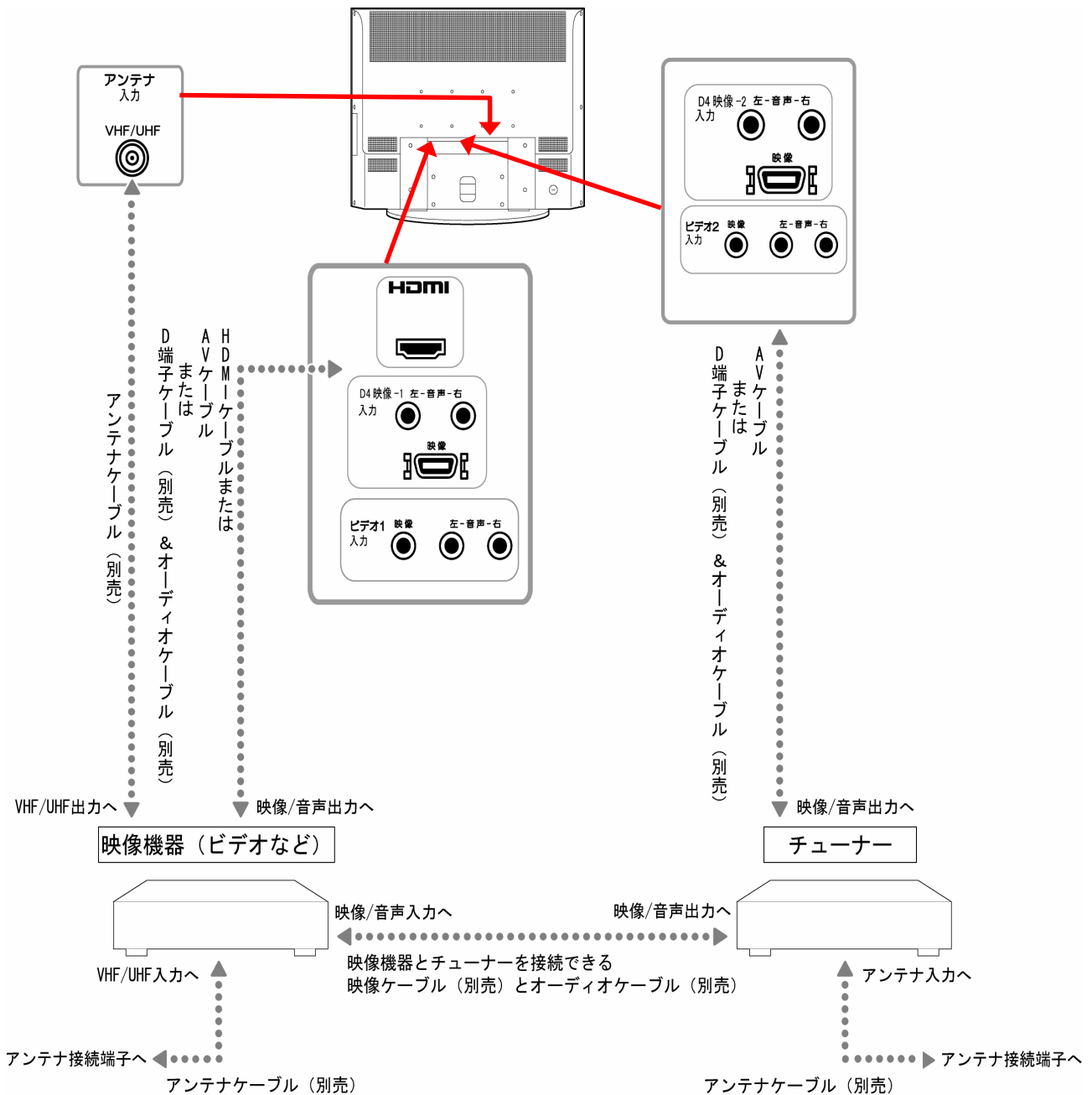
- **ヘッドホンを耳に当てたまま接続しないでください。**
  音量によっては耳を傷める原因となります。
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないようご注意ください。**
  大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドホンを接続すると、液晶テレビ本体のスピーカーからは音声が出ません。

以上でヘッドホンやスピーカーの接続は終了です。

■オーディオ機器と接続する

液晶テレビ本体の音声出力端子とアンプを接続して使用すると、より迫力のある音声でお楽しみできます。

以上でアンプの接続は終了です。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐときには…

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには、地上・BS・110度CSデジタルチューナーとの接続が必要です。

アンテナ入力
VHF/UHF

D4映像-2 入力 左-音声-右
映像
ビデオ2 入力 映像 左-音声-右

HDMI
D4映像-1 入力 左-音声-右
映像
ビデオ1 入力 映像 左-音声-右

アンテナケーブル（別売）
D端子ケーブル（別売）&オーディオケーブル（別売）
または
AVケーブル
HDMIケーブルまたは

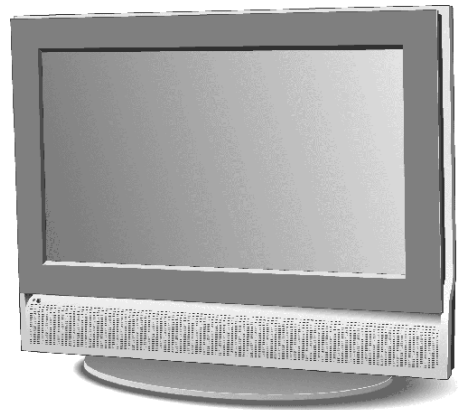
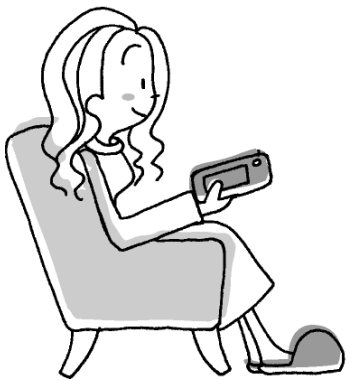
D端子ケーブル（別売）&オーディオケーブル（別売）
または
AVケーブル

VHF/UHF出力へ
映像/音声出力へ
映像/音声出力へ

映像機器（ビデオなど）
チューナー

映像/音声入力へ
映像/音声出力へ
映像機器とチューナーを接続できる
映像ケーブル（別売）とオーディオケーブル（別売）

VHF/UHF入力へ
アンテナ入力へ
アンテナ接続端子へ
アンテナ接続端子へ
アンテナケーブル（別売）
アンテナケーブル（別売）

- 使用する地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もお読みください。
- 110度CSデジタル放送は、無料のチャンネルもありますが、入会金・月会費などが必要になる有料放送です。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。
こちらもご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsその他

困ったときには～テレビ／映像機器（ビデオなど）編～

電源が入らない

原因１	電源ケーブルが正しく接続されていない。
対処	電源ケーブルを接続しなおしてください。（【他の機器と接続する】（53ページ）参照）

リモコンが反応しない

原因１	リモコンに電池が入っていない。
対処	電池が入っていることをご確認ください。（【乾電池の入れ方】（16ページ）参照）

原因２	電池が消耗している。
対処	新しい電池と交換してください。（【乾電池の入れ方】（16ページ）参照）

原因３	リモコンをリモコン受光部に向けていない、もしくは赤外線受光部の範囲から外れている。
対処	リモコンを本製品のリモコン受光部の操作範囲内で使用してください。 （【参考 リモコンの操作】（16ページ）参照）

原因４	液晶テレビ本体の電源ケーブルが抜けている。
対処	液晶テレビ本体の背面に電源ケーブルを接続してください。 また、接続が緩んでいないか、奥までしっかり差し込まれているか、ご確認ください。 液晶テレビ本体に電源ケーブルが接続されていないと、リモコンは反応しません。

原因５	リモコン受光部とリモコンの間に障害物がある。または、リモコン受光部に強い光があたっている。
対処	障害物やリモコン受光部にあたっている光を取り除いてください。

本製品で受信しているテレビが映らない

原因１	アンテナ端子がきちんと接続されていない。
対処	アンテナ端子の接続をご確認ください。

原因２	チャンネルの設定がされていない。
対処	チャンネル設定をご確認ください。（【テレビチャンネルを設定する】（23ページ）参照）

原因３	液晶テレビ本体の電源がオフになっている。
対処	液晶テレビ本体の電源をご確認ください。

本製品で受信しているテレビの映りが悪い

原因	チャンネル設定の微調整が必要。
対処	チャンネルの微調整をしてください。（【チャンネル微調整設定】（30ページ）参照）

地上アナログ放送で映像が２重３重に見える

原因	アンテナの位置がずれている。
対処	アンテナの位置を調整してください。

テレビの映像が見づらい

原因	画質調整が必要。
対処１	画質を調整してください。（【設定/調整をする】（43ページ）参照）
対処２	受信電波が弱い場合は、ブースターを設置することで画質が改善することがあります。

本体内蔵スピーカーから音声が聞こえない

原因１	液晶テレビ本体に外部スピーカーやヘッドホンなどを接続している。
対処	外部スピーカーやヘッドホンなどの接続を取り外してください。

原因２	ボリュームが「0」になっている。
対処	ボリュームをご確認ください。

原因３	ミュート機能を使用したままになっている。
対処	リモコンの［消音］ボタンを押してください。

原因４	スピーカーの設定がオフになっている。
対処	スピーカーの設定をオンにしてください。（【オーディオ設定】（46ページ）参照）

映像機器やチューナーからの映像が表示されない

原因１	映像機器やチューナーとの接続が正しくない。
対処	接続するケーブルを各端子にしっかりと差し込んでください。

原因２	対応外の信号が出力されている。（HDMI で接続している場合）
対処	映像機器やチューナーの設定を対応する信号に変えてください。

液晶テレビ本体の上部や液晶パネル面の温度が高い

原因	問題ありません。
対処	温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。 （液晶テレビ本体の通風孔をふさがないように、お使いください。）

チャンネルを切り換えたとき、画面が一瞬暗くなる

原因	問題ありません。
対処	チャンネルを切り換えたときに発生するノイズを見えにくくするため、画面が一瞬暗くなるようになっています。

画面が揺れる、映像が不鮮明、画面に色模様が出たり、色が消える

■テレビ受信時

原因１	アンテナやアンテナ線が劣化または破損、断線している。
対処	アンテナとアンテナ線を確認してください。

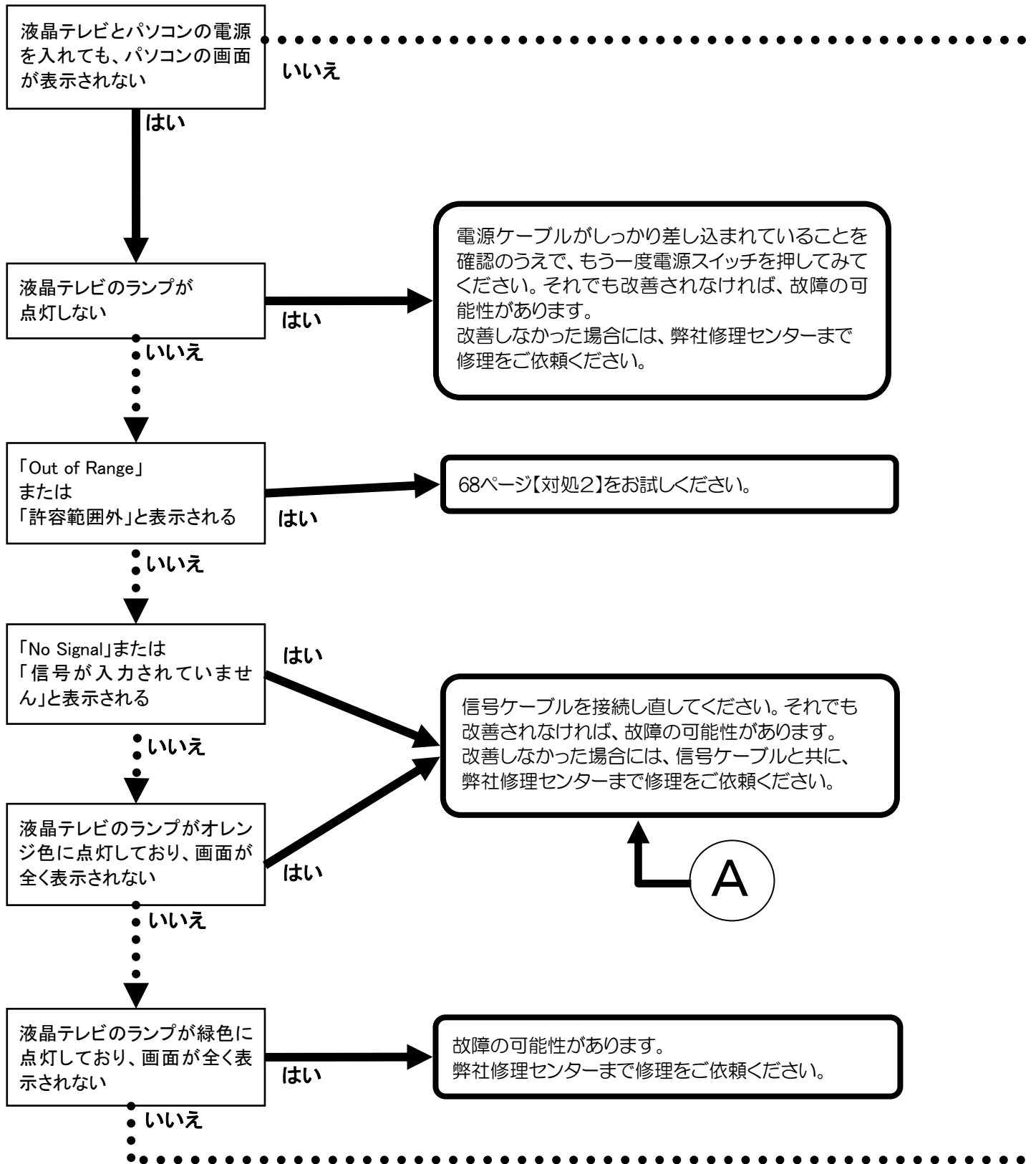
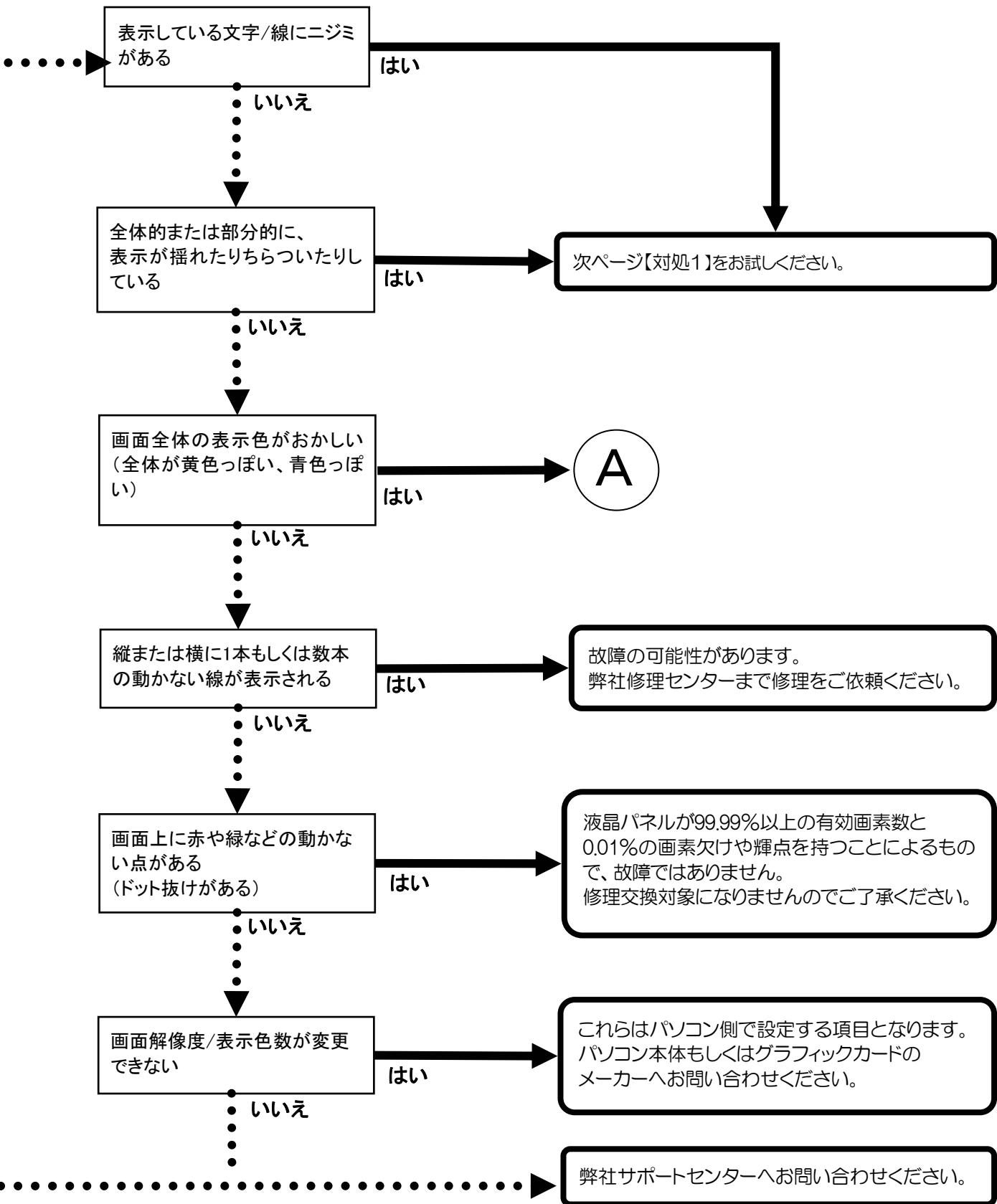
原因２	アンテナ端子がきちんと接続されていない。
対処	アンテナ端子の接続をご確認ください。

■ビデオ入力時

原因１	ケーブルがしっかりささっていない。
対処	ケーブルの接続を確認してください。

画面に映像のない部分ができる

原因	問題ありません。
対処	横長の映像などで上下に映像のない部分ができることがあります。

困ったときには　～パソコン編～

ご注意 本製品の仕様外の解像度を設定すると、「何も表示されない」など、正しく表示されない場合があります。（【ハードウェア仕様】（70ページ）にて「対応信号タイミング」をご参照ください）

対処１

■メニュー画面から、自動調整を行ってみてください。

それでも改善されない場合は、画像の幅、位置の調整をお試しください。

■OS毎のリフレッシュレートを60Hzにしてみてください。

リフレッシュレートの設定を「60Hz」に変更することにより改善される場合があります。

①Windows XP の場合
[画面のプロパティ]→［設定］タブ→［詳細設定］ボタン→［モニタ］タブ→［画面のリフレッシュレート］
②Windows 2000 の場合
[画面のプロパティ]→［設定］タブ→［詳細］ボタン→［モニタ］タブ→［リフレッシュレート］
③Windows 98/98SE/Me の場合
[画面のプロパティ]→［設定］タブ→［詳細］ボタン→［アダプタ］タブ→［リフレッシュレート］
④Windows 95 の場合
[画面のプロパティ]→［ディスプレイの詳細］タブ→［詳細プロパティ］ボタン→［アダプタ］タブ
→［リフレッシュレート］

対処２

本製品の仕様外の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)を設定されたためと思われます。本製品での推奨解像度は、1360×768、1280×1024、1024×768 です。
以下の方法にて設定を変更してください。

1. Windows 起動ロゴが表示される前あたりで、キーボードの[F8]キーを断続的に何回か押します。
   キーを押したままにしないでください。

2. Windows XP/2000/NT 4.0 の場合
   ［VGA モードを有効にする］を選択し（Windows NT 4.0 では[VGA MODE]）、[ENTER］キーを押します。
   ⇒Windows が起動します。

   Windows Me/98/95 の場合
   ①[3.Safe Mode]を選択し、[Enter］キーを押します。
   ⇒Windows が起動します。
   ②デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし、[プロパティ]をクリックします。
   ［画面のプロパティ］が起動しますので、[設定]タブをクリックし（Windows 95 では[詳細]タブ)、解像度を［640×480］もしくは［1360×768］もしくは[1024×768]に指定します。
   変更できない状態なら、そのまま[OK]ボタンをクリックします。
   ③Windows を再起動します。

デスクトップ（壁紙）部分で右クリックし、[設定]タブをクリックし（Windows 95では[詳細]タブ）、本製品が対応している解像度内にて、改めて解像度を設定します。設定後、［適用］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。
対応外の解像度が選択された場合でも、［ESC］キーを押せば元の解像度に復帰できます。

Windows XP/2000/NT 4.0の場合は、Windowsを再起動します。

付録

ハードウェア仕様

外観および仕様は、改善のため予告なく変更することがあります
あらかじめご了承ください。

■液晶テレビ本体仕様

表示面上に滅点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある場合があります
これは、液晶パネル自体が99.99%以上の有効画素と0.01%未満の画素欠けや輝点を持つことによるものです。故障あるいは不良ではありません。修理交換の対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。

項目		仕様
パネルタイプ		アクティブマトリクス駆動方式（薄型トランジスタ）
サイズ		32V型
種類		地上波アナログカラー液晶テレビ
画面寸法		幅69.7・高さ39.2・対角80.0cm
最大表示解像度		1366 x 768
画素ピッチ		約0.51mm(H) x 約0.51mm(V)
表示色		約1677万色
視野角度		上下：170°　左右：170°
最大輝度		500cd/㎡
コントラスト		800：1
応答速度		16ms
TV入力	受信チャンネル	VHF:1～12、UHF:13～62、CATV:C13～C63
	アンテナ端子	VHF/UHF1軸
ビデオ入力		D4入力系統（D4端子＋RCAタイプ）端子x2 コンポジット入力(RCAタイプ)端子　x3 Sビデオ入力端子 x1 HDMI入力端子 x1
PC入力		アナログRGB（セパレート同期信号） ステレオミニジャックφ3.5
高画質機能		3D Y/C分離※1
		ノイズリダクション※2
使用温度条件		+5℃ ～ +35℃
使用湿度条件		20% ～ 80%（結露なきこと）
電源		AC 100V　50/60Hz
消費電力	最大時	160W
	待機時	2W
年間消費電力量		221.0kwh/年
パワーマネージメント		VESA DPM互換
盗難防止装備		盗難防止用器具設置ホール
外形寸法	台座あり	約818.3mm(W) x 約280.5mm(D) x 約643.8mm(H)
質量		19.5kg/15.5Kg(台座なし)

※1 縞模様などの、表示中に生じやすい色のにじみを抑えます。
※2 映像中に生じるざらつきなどのノイズを抑えます。

■スピーカー仕様

音声出力	スピーカー	10W＋10W
	外部スピーカー	RCAタイプ
	ヘッドホン	ステレオミニジャック φ3.5
周波数特性		250Hz～20kHz

■対応信号タイミング

表示モード	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
640 x 400	24.8	56.4
640 x 480	31.5	59.9
	37.5	75.0
720 x 400	31.5	70.1
800 x 600	37.9	60.3
	46.9	75.0
1024 x 768	48.4	60.0
	56.5	70.1
	60.0	75.0
1152 x 864	67.5	75.0
1280 x 960	60.0	60.0
1280 x 1024	64.0	60.0
1360 x 768	47.7	60.0

※DVI・HDMI変換ケーブルを使用したデジタル表示はサポートしておりません。

ご注意

- パソコンからの信号はすべてノンインターレースである必要があります。
- 表示解像度、表示色数は接続するグラフィックボードによって異なります。
- コンポジットシンクおよびシンクオングリーンには対応しておりません。

■高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両位性-第3-2部：限度値-高調波電流限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

■J-Mossについて

Pb,Cr(VI)

資源有効利用促進法、JIS C 0950 に定める化学物質の含有情報は以下をご参照ください。
http://www.iodata.jp/jmoss/

チャンネル地域コード一覧表

チャンネル地域コード一覧表です。
※チャンネル地域コードは2005年10月現在のものです。

地域	参照先
北海道	73ページ
青森	73ページ
岩手	73ページ
宮城	74ページ
秋田	74ページ
山形	74ページ
福島	74ページ
茨城	74ページ
栃木	74ページ
群馬	75ページ
埼玉	75ページ
千葉	75ページ
東京	75ページ
神奈川	75ページ
新潟	76ページ
富山	76ページ
石川	76ページ
福井	76ページ
山梨	76ページ
長野	76ページ
岐阜	76ページ
静岡	77ページ
愛知	77ページ
三重	77ページ
滋賀	77ページ

地域	参照先
京都	78ページ
大阪	78ページ
兵庫	78ページ
奈良	78ページ
和歌山	78ページ
鳥取	78ページ
島根	79ページ
岡山	79ページ
広島	79ページ
山口	79ページ
徳島	79ページ
香川	79ページ
愛媛	80ページ
高知	80ページ
福岡	80ページ
佐賀	80ページ
長崎	80ページ
熊本	81ページ
大分	81ページ
宮崎	81ページ
鹿児島	81ページ
沖縄	81ページ

■アナログ放送からデジタル放送への移行

地上アナログ放送は、2011年7月24日に終了することが、国の方針として決定されております。従いまして、放送終了以降は、地上デジタルチューナーなど別途ご用意の上、外部機器として接続していただくことが必要になります。

チャンネル地域コード一覧表（続き）

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
北海道	札幌	HBC		NHK総合	TVh	STV		UHB		HTB			NHK教育
		1		3	17	5		27		35			12
	旭川		NHK教育	TVh	UHB	HTB		STV		NHK総合		HBC	
			2	33	37	39		7		9		11	
	函館	TVh	UHB	HTB	NHK総合		HBC				NHK教育		STV
		21	27	35	4		6				10		12
	釧路		NHK教育	HTB	UHB			STV		NHK総合		HBC	
			2	39	41			7		9		11	
	帯広	UHB		HTB	NHK総合		HBC				STV		NHK教育
		32		34	4		6				10		12
	苫小牧	TVh	NHK教育	NHK総合	UHB	HBC	STV	HTB					
		47	49	51	53	55	57	61					
	小樽	TVh	NHK教育	UHB	HTB			STV		HBC		NHK総合	
		24	2	26	4			7		9		11	
	室蘭		NHK教育	TVh	UHB	HTB		STV		NHK総合		HBC	
			2	29	37	39		7		9		11	
	北見		NHK教育			UHB	HTB	STV		NHK総合		HBC	
			2			59	61	7		9		53	
青森	青森	青森放送		NHK総合		NHK教育		青森ﾃﾚﾋﾞ		青森朝日放送			
		1		3		5		38		34			
	八戸			青森ﾃﾚﾋﾞ		青森朝日放送		NHK教育		NHK総合		青森放送	
				33		31		7		9		11	
岩手	盛岡				NHK総合		IBCﾃﾚﾋﾞ		NHK教育	岩手朝日ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ岩手		めんこいﾃﾚﾋﾞ
					4		6		8	31	35		33

チャンネル地域コード一覧表（続き）

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル	受信チャンネル
宮城	仙台	TBCﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		NHK教育		東日本放送		ﾐﾔｷﾞﾃﾚﾋﾞ			仙台放送
		1		3		5		32		34			12
	石巻	TBCﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		NHK教育		東日本放送		ﾐﾔｷﾞﾃﾚﾋﾞ			仙台放送
		59		51		49		61		55			57
秋田	秋田		NHK教育							NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送	秋田ﾃﾚﾋﾞ
			2							9	31	11	37
	大館								NHK教育	NHK総合	秋田朝日放送	秋田放送	秋田ﾃﾚﾋﾞ
									8	9	59	11	57
山形	山形				NHK教育		ﾃﾚﾋﾞｭｰ山形	さくらんぼ	NHK総合		山形放送		山形ﾃﾚﾋﾞ
					4		36	30	8		10		38
	鶴岡	山形放送		NHK総合			NHK教育		山形ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞｭｰ山形		さくらんぼ
		1		3			6		39		22		24
福島	福島		NHK教育	ﾃﾚﾋﾞｭｰ福島		福島中央ﾃﾚﾋﾞ		福島放送		NHK総合		福島ﾃﾚﾋﾞ	
			2	31		33		35		9		11	
	いわき		ﾃﾚﾋﾞｭｰ福島		NHK総合		福島中央ﾃﾚﾋﾞ		福島ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育		福島放送
			62		4		58		8		10		60
	会津若松	NHK総合		NHK教育			福島ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞｭｰ福島		福島中央ﾃﾚﾋﾞ		福島放送
		1		3			6		47		37		41
茨城	水戸	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		44		46	42		40		38		36		32
	日立	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		52		50	54		56		58		60		62
栃木	宇都宮	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	とちぎﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		51		49	53		55		57	31	41		44

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
群馬	前橋	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	放送大学	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日	群馬ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ東京
		52		50	54	40	56		58		60	48	62
	桐生	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	放送大学	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日	群馬ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ東京
		51		57	53	40	55		35		59	41	61
埼玉	さいたま	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	放送大学	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ埼玉	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		1		3	4	16	6		8	38	10		12
	熊谷	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ	放送大学	ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ埼玉	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		51		35	53		55	16	57	30	59		61
千葉	千葉	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	放送大学	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日	千葉ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ東京
		1		3	4	16	6		8	42	10	46	12
東京	23区	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	MXﾃﾚﾋﾞ	TBSﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ埼玉	ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日	千葉ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ東京
		1		3	4	14	6	38	8	42	10	46	12
	八王子	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	MXﾃﾚﾋﾞ	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		33		29	35	40	37		31		45		62
	多摩	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	MXﾃﾚﾋﾞ	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		49		47	51	61	53		55		57		59
神奈川	横浜	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ	放送大学	TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		1		3	4	16	6		8	42	10		12
	茅ヶ崎	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		33		29	35		37		39	31	41		43
	小田原	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		52		50	54		56		58	46	60		62
	秦野	NHK総合		NHK教育	日本ﾃﾚﾋﾞ		TBSﾃﾚﾋﾞ		ﾌｼﾞﾃﾚﾋﾞ	TVKﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ朝日		ﾃﾚﾋﾞ東京
		47		49	51		53		55	61	57		59

チャンネル地域コード一覧表（続き）

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ	受信 ﾁｬﾝﾈﾙ
新潟	新潟	新潟 ﾃﾚﾋﾞ21		ﾃﾚﾋﾞ 新潟		新潟 放送			NHK 総合		新潟 総合 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
		21		29		5			8		35		12
	上越	NHK 教育		NHK 総合			新潟 ﾃﾚﾋﾞ21		ﾃﾚﾋﾞ 新潟		新潟 放送		新潟 総合 ﾃﾚﾋﾞ
		1		3			37		27		10		33
富山	富山	北日本 放送		NHK 総合							NHK 教育	ﾁｭｰ ﾘｯﾌﾟ	富山 ﾃﾚﾋﾞ
		1		3							10	32	34
	高岡	北日本 放送		NHK 総合							NHK 教育	ﾁｭｰ ﾘｯﾌﾟ	富山 ﾃﾚﾋﾞ
		50		48							46	42	44
石川	金沢				NHK 総合		MRO ﾃﾚﾋﾞ	北陸 朝日 放送	NHK 教育		ﾃﾚﾋﾞ 金沢		石川 ﾃﾚﾋﾞ
					4		6	25	8		33		37
福井	福井	福井 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育			MRO ﾃﾚﾋﾞ			NHK 総合		FBC ﾃﾚﾋﾞ	
		39		3			6			9		11	
山梨	甲府	NHK 総合		NHK 教育		YBS ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ 山梨					
		1		3		5		37					
長野	長野		NHK 総合	長野 朝日 放送		ﾃﾚﾋﾞ 信州		長野 放送		NHK 教育		信越 放送	
			44	50		40		42		46		48	
	飯田	長野朝 日放送		NHK 教育	NHK 総合		信越 放送		ﾃﾚﾋﾞ 信州		長野 放送		
		44		3	4		6		42		40		
	松本		NHK 総合	長野朝 日放送		ﾃﾚﾋﾞ 信州		長野 放送		NHK 教育		信越 放送	
			44	50		48		42		46		40	
岐阜	岐阜	東海 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 総合		CBC ﾃﾚﾋﾞ		中京 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育		名古屋 ﾃﾚﾋﾞ	岐阜 放送
		1		3		5		35		9		11	37
	各務原	東海 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 総合		CBC ﾃﾚﾋﾞ		中京 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育		名古屋 ﾃﾚﾋﾞ	岐阜 放送
		1		3		5		35		9		11	28

都道府県	都市名		１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
			放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ	放送局 受信ﾁｬﾝﾈﾙ
静岡	静岡	放送局		NHK教育	静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ静岡		NHK総合		SBSﾃﾚﾋﾞ	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		2	31		33		35		9		11	
	浜松	放送局		静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		SBSﾃﾚﾋﾞ		NHK教育		静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ静岡
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		30		4		6		8		28		34
	富士	放送局		NHK教育	静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ静岡		NHK総合		SBSﾃﾚﾋﾞ	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		54	27		29		39		52		41	
	沼津	放送局		NHK教育	静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ静岡		NHK総合		SBSﾃﾚﾋﾞ	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		51	61		57		59		53		55	
	藤枝	放送局		NHK教育	静岡第一ﾃﾚﾋﾞ		静岡朝日ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ静岡		NHK総合		SBSﾃﾚﾋﾞ	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		44	24		26		38		42		40	
愛知	名古屋	放送局	東海ﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		CBCﾃﾚﾋﾞ		中京ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育		名古屋ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ愛知
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	1		3		5		35		9		11	25
	豊橋	放送局	東海ﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		CBCﾃﾚﾋﾞ		中京ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育		名古屋ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ愛知
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	56		54		62		58		50		60	52
	豊田	放送局	東海ﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		CBCﾃﾚﾋﾞ		中京ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育		名古屋ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ愛知
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	57		53		55		59		51		61	49
三重	津	放送局	東海ﾃﾚﾋﾞ		NHK総合		CBCﾃﾚﾋﾞ		中京ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育	三重ﾃﾚﾋﾞ	名古屋ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ愛知
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	1		3		5		35		9	33	11	25
滋賀	大津	放送局		NHK総合		毎日放送		ABCﾃﾚﾋﾞ		関西ﾃﾚﾋﾞ		読売ﾃﾚﾋﾞ	びわ湖放送	NHK教育
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		28		36		38		40		42	30	46
	彦根	放送局		NHK総合		毎日放送	びわ湖放送	ABCﾃﾚﾋﾞ		関西ﾃﾚﾋﾞ		読売ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		52		54	56	58		60		62		50

チャンネル地域コード一覧表（続き）

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
京都	京都1		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ	京都 ﾃﾚﾋﾞ	関西 ﾃﾚﾋﾞ	奈良 ﾃﾚﾋﾞ	読売 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
			2	36	4	19	6	34	8	26	10		12
	京都2		NHK 総合	京都 ﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
			2	34	4	21	6		8		10		12
大阪	大阪		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ	京都 ﾃﾚﾋﾞ	関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ 和歌山	NHK 教育
			2	36	4	19	6	34	8		10	30	12
兵庫	神戸		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ	京都 ﾃﾚﾋﾞ	関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ 和歌山	NHK 教育
			2	36	4	19	6	34	8		10	30	12
	姫路		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送		ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
			50	56	54		58		60		62		52
	明石		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ 和歌山	NHK 教育
			51	55	53	19	57		59		61	30	49
	川西		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送		ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
			29	33	35		37		39		41		31
奈良	奈良		NHK 総合	ｻﾝﾃﾚﾋﾞ	毎日 放送	ﾃﾚﾋﾞ 大阪	ABC ﾃﾚﾋﾞ	奈良 ﾃﾚﾋﾞ	関西 ﾃﾚﾋﾞ	奈良 ﾃﾚﾋﾞ	読売 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 教育
			2	36	4	19	6	62	8	55	10		12
和歌山	和歌山1		NHK 総合		毎日 放送		ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ 和歌山	NHK 教育
			32		42		44		46		48	30	25
	和歌山2		NHK 総合		毎日 放送		ABC ﾃﾚﾋﾞ		関西 ﾃﾚﾋﾞ		読売 ﾃﾚﾋﾞ	ﾃﾚﾋﾞ 和歌山	NHK 教育
			50		54		58		60		62	56	52
鳥取	鳥取	日本海 ﾃﾚﾋﾞ		NHK 総合	NHK 教育				山陰 中央 ﾃﾚﾋﾞ		BSS 山陰 放送		
		1		3	4				24		22		

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
島根	松江	日本海ﾃﾚﾋﾞ		山陰中央ﾃﾚﾋﾞ			NHK総合				BSS山陰放送		NHK教育
		30		34			6				10		12
	浜田		NHK総合	日本海ﾃﾚﾋﾞ		BSS山陰放送			山陰中央ﾃﾚﾋﾞ	NHK教育			
			2	54		5			58	9			
岡山	岡山	ﾃﾚﾋﾞせとうち		NHK教育		NHK総合	瀬戸内海放送	OHKﾃﾚﾋﾞ		西日本ﾃﾚﾋﾞ		山陽放送	
		23		3		5	25	35		9		11	
広島	広島	TSSテレビ		NHK総合	RCC			NHK教育			広島ﾎｰﾑ		広島ﾃﾚﾋﾞ
		31		3	4			7			35		12
	福山	NHK総合		広島ﾎｰﾑ		TSSテレビ		NHK教育			RCC		広島ﾃﾚﾋﾞ
		1		24		26		7			10		12
	呉	NHK教育		広島ﾎｰﾑ		広島ﾃﾚﾋﾞ		TSSテレビ		RCC		NHK総合	
		1		24		5		26		9		11	
山口	山口	NHK教育				YAB		TYS		NHK総合		KRY	
		1				52		38		9		11	
	下関	NHK教育	KBC	TVQ	KRY	YAB		TYS	RKB	NHK総合	TNC	FBS	NHK教育
		41	2	23	4	21		33	8	39	10	35	12
	宇部	NHK教育	KBC			YAB		TYS	RKB	NHK総合	TNC	KRY	
		55	2			24		44	8	58	10	61	
	岩国	NHK教育			RCC	TYS		YAB		NHK総合	南海ﾃﾚﾋﾞ	KRY	広島ﾃﾚﾋﾞ
		1			4	22		28		9	10	11	12
徳島	徳島	四国放送		NHK総合	毎日放送		ABCﾃﾚﾋﾞ		関西ﾃﾚﾋﾞ		読売ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育
		1		3	4		6		8		10		12
香川	高松	瀬戸内海放送		NHK教育		NHK総合		OHK		西日本ﾃﾚﾋﾞ		山陽放送	ﾃﾚﾋﾞせとうち
		33		39		37		31		41		29	19

チャンネル地域コード一覧表（続き）

都道府県	都市名		１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
			放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
			受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
愛媛	松山	放送局		NHK教育		あいﾃﾚﾋﾞ	愛媛朝日ﾃﾚﾋﾞ	NHK総合		ﾃﾚﾋﾞ愛媛		南海ﾃﾚﾋﾞ		広島ﾎｰﾑ
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		2		29	25	6		37		10		35
	新居浜	放送局		NHK総合		NHK教育	愛媛朝日ﾃﾚﾋﾞ	南海ﾃﾚﾋﾞ		ﾃﾚﾋﾞ愛媛			あいﾃﾚﾋﾞ	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		2		4	14	6		36			27	
	今治	放送局		NHK教育		あいﾃﾚﾋﾞ	愛媛朝日ﾃﾚﾋﾞ	NHK総合		ﾃﾚﾋﾞ愛媛		南海ﾃﾚﾋﾞ		広島ﾎｰﾑ
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		30		27	14	32		36		34		38
高知	高知	放送局				NHK総合		NHK教育		高知放送		ﾃﾚﾋﾞ高知		さんさんﾃﾚﾋﾞ
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ				4		6		8		38		40
福岡	福岡	放送局	KBC		NHK総合	RKB		NHK教育			TNC		TVQ	FBS
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	1		3	4		6			9		19	37
	北九州	放送局		KBC	TVQ	FBS		NHK総合		RKB		TNC		NHK教育
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		2	23	35		6		8		10		12
	久留米	放送局	KBC		NHK総合	RKB		NHK教育			TNC		TVQ	FBS
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	57		46	48		54			60		14	52
	大牟田	放送局	KBC	TVQ	NHK総合	RKB		NHK教育			TNC		FBS	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	58	19	53	61		50			55		43	
佐賀	佐賀	放送局	TVQ	STS	NHK教育	NHK総合	RKB	FBS	KBC	TNC			RKK	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	19	36	40	38	48	52	57	60			11	
長崎	長崎	放送局	NHK教育		NHK総合		NBC		KTN		NCC		NIB	
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	1		3		5		37		27		25	
	佐世保	放送局		NHK教育		NIB		NCC		NHK総合		NBC		KTN
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ		2		17		31		8		10		35

都道府県	都市名	１	２	３	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２
		放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局	放送局
		受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ	受信ﾁｬﾝﾈﾙ
熊本	熊本		NHK教育	KAB		KKT		TKU		NHK総合		RKK	
			2	16		22		34		9		11	
大分	大分			NHK総合	あいﾃﾚﾋﾞ	OBS		TOS	ﾃﾚﾋﾞ愛媛	OAB	南海ﾃﾚﾋﾞ		NHK教育
				3	34	5		36	32	24	10		12
宮崎	宮崎						UMK		NHK総合		MRT		NHK教育
							35		8		10		12
	延岡		NHK教育		NHK総合		MRT		UMK				
			2		4		6		39				
鹿児島	鹿児島	MBC		NHK総合		NHK教育		KKB		KTS		KYT	
		1		3		5		32		38		30	
	阿久根		KYT		KKB		KTS		NHK総合		MBC		NHK教育
			30		23		35		8		10		12
沖縄	那覇		NHK総合						沖縄ﾃﾚﾋﾞ	琉球朝日放送	琉球放送		NHK教育
			2						8	28	10		12

局名表示順序表

局名表示設定中は以下の表示順序で変化します。
※局名表示順序表は2005年6月現在のものです。

表示順序	表示局名	放送局名
1		空欄
2	NHK1	NHK総合
3	NHK2	NHK教育
4	HBC	北海道放送
5	STV	札幌テレビ放送
6	HTB	北海道テレビ放送
7	UHB	北海道文化放送
8	TVH	テレビ北海道
9	RAB	青森放送
10	ATV	青森テレビ
11	ABA	青森朝日放送
12	IBC	IBC岩手放送
13	TVI	テレビ岩手
14	MIT	岩手めんこいテレビ
15	IAT	岩手朝日テレビ
16	TBC	東北放送
17	OX	仙台放送
18	MMT	宮城テレビ放送
19	KHB	東日本放送
20	ABS	秋田放送
21	AKT	秋田テレビ
22	AAB	秋田朝日放送
23	YBC	山形放送
24	YTS	山形テレビ
25	TUY	テレビユー山形
26	SAY	さくらんぼﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
27	FTV	福島テレビ
28	FCT	福島中央テレビ
29	KFB	福島放送
30	TUF	テレビユー福島
31	TBS	東京放送
32	NTV	日本テレビ放送網

表示順序	表示局名	放送局名
33	ANB	全国朝日放送
34	CX	フジテレビジョン
35	TX	テレビ東京
36	MX	東京ﾒﾄﾛﾎﾟﾘﾀﾝﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ
37	GTV	群馬テレビ
38	TTV	とちぎテレビ
39	TVS	テレビ埼玉
40	CTC	千葉テレビ放送
41	TVK	テレビ神奈川
42	BSN	新潟放送
43	NST	新潟総合テレビ
44	TENY	テレビ新潟放送網
45	NT21	新潟テレビ21
46	SBC	信越放送
47	NBS	長野放送
48	TSB	テレビ信州
49	ABN	長野朝日放送
50	YBS	山梨放送
51	UTY	テレビ山梨
52	SBS	静岡放送
53	SUT	テレビ静岡
54	SATV	静岡朝日テレビ
55	SDT	静岡第一テレビ
56	KNB	北日本放送
57	BBT	富山テレビ放送
58	TUT	チューリップテレビ
59	MRO	北陸放送
60	ITC	石川テレビ放送
61	KTK	テレビ金沢
62	HAB	北陸朝日放送
63	FBC	福井放送
64	FTB	福井ﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ放送

表示順序	表示局名	放送局名
65	CBC	中部日本放送
66	THK	東海テレビ放送
67	NBN	名古屋テレビ放送
68	CTV	中京テレビ放送
69	TVA	テレビ愛知
70	GBS	岐阜放送
71	MTV	三重テレビ放送
72	BBC	びわ湖放送
73	KBS	京都放送
74	MBS	毎日放送
75	ABC	朝日放送
76	YTV	讀賣テレビ放送
77	KTV	関西テレビ放送
78	TVO	テレビ大阪
79	TVN	奈良テレビ放送
80	SUN	サンテレビジョン
81	WTV	テレビ和歌山
82	BSS	山陰放送
83	NKT	日本海ﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ放送
84	TSK	山陰中央ﾃﾚﾋﾞｼﾞｮﾝ放送
85	RSK	山陽放送
86	OHK	岡山放送
87	TSC	テレビせとうち
88	RCC	中国放送
89	HTV	広島テレビ放送
90	HOME	広島ホームテレビ
91	TSS	テレビ新広島
92	KRY	山口放送
93	TYS	テレビ山口
94	YAB	山口朝日放送
95	JRT	四国放送
96	RNC	西日本放送
97	KSB	瀬戸内海放送
98	RNB	南海放送

表示順序	表示局名	放送局名
99	EBC	愛媛放送
100	ITV	伊予テレビ
101	EAT	愛媛朝日テレビ
102	RKC	高知放送
103	KUTV	テレビ高知
104	KSS	高知さんさんテレビ
105	RKB	RKB毎日放送
106	KBC	九州朝日放送
107	TNC	テレビ西日本
108	FBS	福岡放送
109	TVQ	TXN九州
110	STS	サガテレビ
111	NBC	長崎放送
112	KTN	テレビ長崎
113	NCC	長崎文化放送
114	NIB	長崎国際テレビ
115	RKK	熊本放送
116	TKU	テレビ熊本
117	KKT	熊本県民テレビ
118	KAB	熊本朝日放送
119	OBS	大分放送
120	TOS	テレビ大分
121	OAB	大分朝日放送
122	MRT	宮崎放送
123	UMK	テレビ宮崎
124	MBC	南日本放送
125	KTS	鹿児島テレビ放送
126	KKB	鹿児島放送
127	KYT	鹿児島讀賣テレビ
128	RBC	琉球放送
129	OTV	沖縄テレビ放送
130	QAB	琉球朝日放送
131	UAIR	放送大学
132	CATV	ケーブルテレビ

回収・リサイクルについて

誠に恐れ入りますが、本製品を廃棄される際には、最寄りの地方自治体、もしくは地方自治体が紹介する回収業者にご依頼ください。また、回収・リサイクルの費用については、お客様ご負担となります。

修理について

■修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/（あれば）FAX 番号］，日中にご連絡できるお電話番号，
ご使用環境（接続機器構成、OS など），故障状況（どうなったか）

●修理をご依頼ください
・修理は、お買い上げの販売店、または下記の窓口にご連絡ください。

株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話 076-260-3633（本社）
03-3254-1092（東京）
※受付時間 9:00 ～ 17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX 076-260-3360（本社）
03-3254-9055（東京）

※詳しい内容はこちらまで…http://www.iodata.jp/support/lcdservice/service.htm

■修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
・本製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後８年間保有されています。補修用部品の最低期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、アイ・オー・データ機器 修理センターにご相談ください。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

■修理品の返送

●修理品到着後、通常約 10 日ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 **まず、弊社ホームページをご確認ください。**

【困ったときには】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Ｑ＆Ａ
Newsなど

2 **それでも解決できない場合は、下記へお問い合わせください。**

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話：　本社…**076-260-3633**　東京…**03-3254-1092**
※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。（FTV-321H）
2. ［パソコン接続時］　ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番、ご使用のOS。
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

【呼び方】

呼び方	意味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows Me/98/95	Windows Me、Windows 98およびWindows 95 の総称
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Version 4.0 Workstation Operating System
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows Me/98/95、Windows NT 4.0 の総称

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- HDMI,HDMIロゴ,High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

FTV-321H　取扱説明書　　2006.9.1

発行　　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地